



〈2023-24年度 RI会長テーマ〉



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI会長
ゴードン R. マッキナリー

〈2023-24年度 地区スローガン〉

銳氣沛尚

2023-24年度 ガバナー
築館 智大

国際ロータリー第2830地区
2023-24年度

地区要覧



Contents

ロータリーの目的 / ロータリアンの行動規範 / 四つのテスト	1
ロータリーのビジョン声明	2
ロータリーの中核的価値観	3
RI 会長メッセージ	4
ガバナーメッセージ	6
ガバナーエレクトメッセージ	7
ガバナー補佐紹介	8
地区委員会活動計画	11
地区案内	
地区組織図	20
地区委員会構成	21
地区主要行事予定表	22
ガバナー公式訪問予定表	23
ガバナー公式訪問カレンダー	24
地区予算書	25
特別会計収支計算書	26
委員会活動予算書	26
送金カレンダー	27
報告カレンダー	28
ロータリー関係事務所一覧	29
地区内クラブ一覧表	30
地区事務所組織表	32
地区規定	
地区資金規定	34
地区運営資金要綱	36
会合旅費等負担一覧表	37
国際平和資金規定	40
地区表彰実施要綱	41
ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明 (ロータリークラブ)	43
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (ローターアクトクラブ)	45
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (インターアクトクラブ)	47
ガバナー指名委員会及び諮問委員会	49
地区危機管理委員会規定	50
地区公式キャラクター「ロータくん」について	52



ロータリーの目的 (OBJECT OF ROTARY)

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある。

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリアンの行動規範 (ROTARIAN CODE OF CONDUCT)

- 1) 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- 2) 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- 3) 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- 4) ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- 5) ロータリーの会合、行事、および活動においてハラスメントのない環境を維持することを支援し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないよう確認する。

四つのテスト (THE FOUR-WAY TEST)

言行はこれに照らしてから

- 1) 真実かどうか
- 2) みんなに公平か
- 3) 好意と友情を深めるか
- 4) みんなのためになるかどうか



ロータリーのビジョン声明

私たちは世界で、地域社会で そして自分自身の中で 持続可能な良い変化を生むために 人びとが手を取り合って 行動する世界を目指しています

ポリオ根絶まであと一歩のところまできたロータリーは、次なる課題に取り組む心構えができています。より多くの仲間を迎え入れ、より大きなインパクトをもたらし、世界に変化を生み出すための新たなビジョンの実現に向けて、行動を起こす時が来ています。

国際ロータリーとロータリー財団のビジョンを達成するため、今後5年間の活動を方向づける4つの優先事項が定められました。

ロータリーの戦略的優先事項と目的

より大きな インパクトをもたらす

- ポリオを根絶し、残された資産を活用する
- ロータリーのプログラムおよびロータリーが提供する体験に焦点を当てる
- 活動成果を挙げ、それを測る能力を高める

参加者の 基盤を広げる

- 会員基盤と参加者の基盤を広げ、多様化する
- ロータリーへの新しい経路を創り出す
- ロータリーの開放性とアピール力を高める
- インパクトとブランドに対する認知を築く

参加者の積極的な かかわりを促す

- クラブが会員の積極的参加を促せるよう支援する
- 価値を提供するため、参加者中心のアプローチを開発する
- 個人的／職業的なつながりを築くための新たな機会を提供する
- リーダーシップ育成およびスキル研修の機会を提供する

適応力を高める

- 研究と革新、および進んでリスクを負うことへの意思を奨励する文化を築く
- ガバナンス、構造、プロセスを合理化する
- 意思決定における多様な考え方を育むために、ガバナンスを見直す

ロータリーの中核的価値観

今日の世界は、1905年の世界と同じではありません。人口動態が変わり、変化のスピードが加速し、テクノロジーによってつながりや奉仕の新たな機会が生まれています。不変なのは、ロータリーを定義づける下記の価値観に対するニーズです。

親睦
高潔性
多様性
奉仕
リーダーシップ

過去を敬い、未来を見据えながら、私たちは進化を遂げ、ロータリーを時代に即した組織とするだけでなく、繁栄させることができます。



rotary.org/actionplan



世界に希望を生み出そう

2023-24年度
国際ロータリー 会長

ゴードン R. マッキナリー

サウス・クイーンズフェリー RC
(スコットランド)

2023-24年度
RI会長テーマ



世界に希望を生み出そう

2023-24年度 RI 会長テーマ「世界に希望を生み出そう」ロータリーが平和やメンタルヘルスのために活動し、世界に希望を生み出すよう呼びかけています。また、そのためには対話を通じて信頼を築くことが重要です。

メンタルヘルスの優先

精神疾患や心の健康は話しづらいトピックだと感じるかもしれませんが、国際社会で人が幸福に生きるには大切なことです。このような問題に取り組むための安全な環境を作ることは、私たちと関わるすべての人を歓迎し、公平で、インクルーシブな環境につながります。

- 心の健康の話題に伴うスティグマの解消
- メンタルヘルスのニーズに関する認識の向上
- メンタルヘルスの支援や治療へのアクセス改善

ローターアクトの地位向上

ロータリークラブとローターアクトクラブが互いに協力し支え合う新しい方法を見つけ続けられるかどうかは、私たちにかかっています。

女性および女兒エンパワメント

シェカール・メータ2021-22年度会長が立ち上げ、ジェニファー・ジョーンズ2022-23年度会長が継続した、世界中の女兒と女性のエンパワメントに焦点を当てた取り組みを継続します。女兒の健康、福祉、教育、経済的安定を向上させる活動を続けることが会員に奨励。

D・E・Iの促進 (Diversity Equity Inclusion 多様性、公平さ、インクルージョン)

ロータリーでは、多様性、公平さ、インクルージョンを重視しています。各個人がどのような人で誰を大切に思っているか、信仰や障害の有無、文化や出身国の違いといったことは重要ではありません。重要なのはつながりを強め、持続的な変化を生み出すために行動しようとすることです。

- ロータリーにおけるD・E・Iについて詳しく学ぶ
- 自分のクラブや地域にとってD・E・Iが重要である理由と、これらの原則を取り入れることがクラブの成長と発展にどのように役立つかを理解する
- D・E・Iについて認識を高め、理解を深める
- D・E・Iの行動規範

ポリオ根絶

ポリオの最優先事項。「ポリオのない世界」というロータリーのビジョンを実現するために、クラブの中に新たな緊急感を生み出すよう協力を求めます。各年度に何をすべきかではなく、それを超えて考えるべき時が来ています。できるだけ早く実現するために必要なあらゆるリソースを、私たちが提供していかなければなりません。

プロフィール

2023-24年度
国際ロータリー会長

ゴードンR・マッキナリー 氏

South Queensferry RC

スコットランド、ウェストロージアン

エディンバラ王立高校とダンディー大学で学び、口腔外科の大学院学位を取得。2016年までエディンバラで自身の歯科医院を経営。

英国小児歯科協会のスコットランド東部支部会長を務めたほか、さまざまな教育的役職を歴任。クイーンズフェリー教会会衆派教会理事会の会長、スコットランド国教会総会のコミッショナーも務めた。

1984年、26歳でロータリーに入会。South Queensferry ロータリークラブ所属し、グレートブリテンおよびアイルランドの国際ロータリー(RIBI)の会長と副会長、RI理事と委員会メンバー。2022年ヒューストン国際大会委員会アドバイザー、運営審査委員長などを歴任。

「私のビジョンは、ロータリーの仲間になりたいと思うすべての人、世界で良いことをしたいと願うすべての人が、それぞれに合った方法でどこでも参加できるロータリーになること」

趣味はラグビー、グルメとワイン、スコットランドの伝統的な杖づくり。



ガバナー挨拶

国際ロータリー第2830地区
2023-24年度 ガバナー

築 館 智 大
八戸 RC

2023-24年度 RI 会長のテーマは「世界に希望を生み出そう」

CREATE HOPE in the WORLD です。

そして私は地区のスローガンを **和気満堂** としました。

少しだけ目を開いて周りを見てみませんか？ 色々な物が、色々な人々が居ます。
少しだけ耳をすましてみませんか？ 色々な音が聞こえてきます。
色々な人と握手をしてみませんか？ 大きい手、小さい手、細い手、たくましい手。
皆んな温かい手をしていますよ。

これが“^{わ きまんどう}和気満堂”と理解しています。

“満堂和気生吉祥” 部屋いっぱいの和やかな空気が、めでたい兆しを表す。

満堂の和気、吉祥を生ぜしむ。

ゴードン RI 会長のテーマ“希望”はまさに平和な土壌に育みます。“和気満堂”も私達の心の中にクラブの中に、地区の中に、世界中に和やかな空気が満ちますようにという思いです。

地区として重点的に取り組む事

- 会員増強
- ポリオ根絶
- D・E・Iの推進
- MY ROTARY を使おう

プロフィール

つきだて ともりの
築館 智大 八戸RC所属

職 業 (有)トムセカンド 代表取締役

職業分類 外食産業

経 歴 1955年3月3日 青森県八戸市生まれ (68歳)
青森県立八戸北高等学校
工学院大学 電子工学科

主な職務 日本マクドナルド(株) フランチャイジー

ロータリー歴

2001年5月8日 八戸ロータリークラブ入会
2008-09年 クラブ幹事
2016-18年 地区ローターアクト委員長
2018-19年 クラブ会長
2020-21年 南グループガバナー補佐

褒 章

2018-19年 奉仕活動優秀ロータリアン
メジャードナー レベル1
米山功労者 (3回目)

趣 味 溪流釣り・ゴルフ



ご挨拶

国際ロータリー第2830地区
2023-24年度 ガバナーエレクト

花田 勝彦
五所川原 RC

今年度ガバナーエレクトとなりました五所川原 RCの花田勝彦と申します。よろしくお願い申し上げます。

私は弁護士登録4年目の2002年に、それまで25年間弁護士が常駐しなかった五所川原市に、県内初の公設事務所として五所川原ひまわり基金法律事務所を開設し、以来弁護士過疎地に事務所を構える地元出身の弁護士として執務して参りました。これまで7人の新人弁護士を採用し、6人が当事務所を独立しています。

このような経験から、地域で生き活きと活躍する人達を見つけ、育て、応援することが、私にとってのライフワークであると感じています。

また、この10数年来、ホストファミリーとして弘前大学の学生を中心とした多くの留学生と交流をする機会に恵まれました。若い世代の皆さんと触れあい、未来に何を繋いでいけるのかを考え、実践していきたいと思います。

30代では消費者問題を中心に取り組み、40代ではロータリーの職業奉仕に携わる機会が多くございました。50代に入って、職業奉仕を中心としたロータリー哲学と弁護士としての矜持をいかに融合一体のものとするのかを追求していくことが課題です。

そして、法曹として憲法の理念を伝え、行動に活かすことも大事なことです。その基礎となるのが平和です。ロータリーにおける平和という大きな観点も忘れることなく、切り口として意識したいと思います。

他方で、これまでの知識や経験に頼るだけでは、次第に硬直化し、衰退していくのも世の常でしょう。これからは、時代の変化に即応した柔軟な思考と実践が必須であると思います。ロータリーにおけるD・E・Iは、そのような文脈で捉えて実現すべき大きな柱となるものです。

これまで培ってきた知識や経験と、これから先の変化に対する柔軟な思考と実践を両立させて、ガバナー年度までもう少し方向性を整理し、地区チームとしてのテーマにまで昇華していきたいと思います。

これから地区内のロータリアン、ロータリファミリーの皆様には色々とお願ひし、お力をお借りすることばかりです。何卒お力添えの程よろしくお願い申し上げます。

プロフィール

はなだ かつひこ

花田 勝彦 五所川原RC所属

職業 弁護士法人さくら総合法律事務所 代表弁護士

職業分類 弁護士

出身地 青森県北津軽郡鶴田町

経歴 昭和43年8月28日 青森県弘前市生まれ (54歳)

昭和62年3月 青森県立弘前高等学校卒業

平成3年3月 金沢大学法学部卒業

平成10年3月 司法研修所終了 (第50期)

平成14年1月 五所川原ひまわり基金法律事務所設立
(県内初の公設事務所)

主な職務 一般民事、家事、刑事事件全般を取り扱う。
NPO 法人青森県消費者協会副理事長

ロータリー歴

2004年1月7日 五所川原ロータリークラブ入会

2008-09年 クラブ幹事

2011-12年 クラブ会長

2015-20年 地区社会奉仕・職業奉仕委員長

褒章

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (5回目)

米山功労者 (マルチプル1回目)

趣味 ワイン 温泉巡り audible

東第1グループ

ガバナー補佐



峯 雅夫

むつRC

2023-24年度、東第1グループのガバナー補佐を拝命しましたむつロータリークラブの峯雅夫です。2015年入会でまだまだ勉強不足、力不足ですが、貴重なチャンスを頂きましたので、ガバナー補佐として、東第1グループ各クラブと地区を結びつける役割を精一杯努めてまいりたいと思います。

まずは各クラブの計画・目標設定から共有できるよう各クラブを訪問させていただきます。ガバナー公式訪問のクラブ協議会では、この目標と目標をどのように達成するかがテーマになります。また、ガバナーの方針により、会員増強・公共イメージ向上・ロータリー財団・インターアクト・米山記念の各委員会がすべてのクラブで卓話できるようお願いしたいと思います。

少し自己紹介させていただきます。私は東京生まれ東京育ちで、東京の会社に勤めていたご縁で2005年に青森県東通村に赴任して以来青森県の皆様に公私ともに大変お世話になってまいりました。2018年に東京の会社からは離れましたが、こちらでの大変多くの御縁と離れがたく、むつ市に住み続けることとしました。

今、私にとってロータリークラブは多くの素晴らしい会員との出会いのチャンスを頂き、地域や世界と繋がり、小さな私でも地域や世界のために貢献できるチャンスを頂けるとても貴重な活動の場となっています。

「世界に希望を生み出そう」 戦争が続く中、世界は不安定化し様々な不安が取り巻いています。そこに希望を生み出すことは容易ではありませんが、だからこそロータリー。

「和気満堂」 希望を生み出す活動に取り組んでこそ満ちてくる和気。

楽しく元気に活動していきましょう。

皆様のご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

東第2グループ

ガバナー補佐



吉田敏宏

おいらせRC

2023-24年度 東第2グループガバナー補佐を務めさせていただきます、おいらせロータリークラブの吉田敏宏と申します。

東第2グループの各クラブが、和やかな空気を満ちあふれ、仲間を増やし、クラブを育てていけるよう、築館智大ガバナーのもと、微力ではございますが精一杯務めさせていただきますので、よろしくお願い致します。

特に地区として重点的に取り組む①会員増強、②ポリオ根絶、③D・E・Iの推進、④マイロータリーの活用について、各クラブと一緒に目標達成につなげていけるよう取り組んで参ります。

また、公共イメージ向上のため、地区キャラクター「ロータくん」を活用し、クラブの各イベントを盛り上げて参りたいと思います。

浅学非才かつ若輩者ですが、このガバナー補佐の大役を果たせるように力の限り努力して参りますので、何卒ご協力とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

西第1グループ

ガバナー補佐



高瀬英人

五所川原RC

西第1グループガバナー補佐という大役を仰せつかりました五所川原RCの高瀬です。

築館ガバナーの活動方針にのっとり、各クラブ間のパイプ役になれるように努力してまいり所存です。

また、先輩ロータリアンから教えられた知識と経験を、各クラブの役に立てるよう活用できれば、年代を越えたパイプ役になれるかと考えています。

クラブ訪問等で各クラブにおじゃました際は、どうぞよろしくお願いいたします。

西第2グループ

ガバナー補佐



工藤孝子

弘前東RC

2023-24年度ガバナー補佐を務めさせて頂くことになりました工藤孝子と申します。このような重責を担うにはロータリアンとしての勉強が圧倒的に不足しております。西第二グループの皆さまのお力を支えに時にはアドバイスを頂きながら、クラブ活性化などグループ全体で取り組みたいと思います。世界は、あちこちで紛争が起こり私達の望まない状況になりつつあります。ゴードンR マッキナリー RI 会長は「世界に希望を生み出そう」を掲げ、築館ガバナーは地区のスローガンに「和気満堂」を掲げました。明るい明日が必ず来る事を信じて私達にできる奉仕を考えていきたいと思ひます。

☆築館ガバナーが掲げられましたスローガン、目標を

グループ全員に伝えガバナーと各クラブのベクトルの合致を～

皆さまのご協力よろしくお願いいたします。

中グループ

ガバナー補佐



工藤 真人

青森RC

この度、国際ロータリー第2830地区ガバナー補佐を務めることになりました青森ロータリークラブの工藤真人と申します。

私は、築館ガバナーの下で、地区の各クラブをサポートし、地区全体での活動を活性化させることが最大の使命だと考えております。具体的には以下のことに取り組んでいきたいと考えています。

まず、クラブの強化を目指します。地区内のクラブには、規模、活動内容等様々なクラブがありますが、どのクラブも強くなるための支援が必要です。そのため、クラブのニーズを把握し、必要な支援を提供することを目指します。

次に、地区全体の活性化を目指します。地区のイベントやプログラムを通じて、地区内のクラブ間の交流を深め、協力関係を構築することを目指します。また、新しいプロジェクトの立ち上げや、地区内での共同プロジェクトの推進にも取り組んでいきます。

また、築館年度の重点項目であるポリオ根絶のための取り組みも継続し、ポリオの完全な根絶を目指して若者の理解も深めながら、地域社会と協力していく所存です。

さらに、ロータリーの理念を広めるため地区内外でのPR活動にも注力します。ロータリーの活動や価値観を広く伝えることで、地域社会の理解や支援を得ることができ、ひいては、会員拡大につながると考えています。

以上のように、私は築館ガバナーの指導の下、地区内のクラブの皆様とともに地区全体の活性化に取り組んでいきます。会員の皆様のご協力を頂き2830地区の発展に貢献していく所存です。宜しくお願い致します。

南グループ

ガバナー補佐



吉田 賢治

八戸南RC

国際ロータリー第2830地区築館ガバナーのもと、南グループガバナー補佐を拝命いたしました八戸南ロータリークラブの吉田賢治です。

2023-24年度 国際ロータリー RI テーマは

「CREATE HOPE in the WORLD 世界に希望を生み出そう」

第2830地区スローガン「和気満堂」が築館ガバナーより提唱されました。

この指針を良く理解し南グループの9クラブが目標設定し、行動計画を立て目標に向かうための一助となるよう取り組んで参りたいと思います。まずは自らがガバナー補佐活動を楽しみ、各クラブの皆様との交流を楽しむことに努め、それが会員拡大にそして元気なクラブづくりに繋がってくれたらと思います。

私にはガバナー補佐の大任は甚だ重く感じますが、皆様のご協力をいただきながら重責を全うしたいと思いますので宜しくお願い致します。

会員増強部門

クラブ拡大・会員増強委員会



委員長

今 春淑

十和田八甲RC

2023-24年度 築館ガバナー年度の活動として、各クラブの会員増強委員長さんに会員維持（退会防止）新会員の勧誘を宜しくお願い申し上げます。

RI 会長テーマ「CREATE HOPE in the WORLD」（世界に希望を生み出そう）と発表され、築館ガバナーより「和気満堂」を地区スローガンとして提唱されました。地区として重点的に取り組む事として

1. 会員増強（1100～1200）
2. ポリオ根絶
3. D・E・Iの推進
4. My ROTARY を使う

以上4項目を地区目標として掲げられました。地区目標を達成できるように、クラブ拡大、会員増強委員会各グループのガバナー補佐、各クラブの皆様と連携を取り、実行していきます。

クラブ拡大・会員増強委員会は、各クラブの目標の手助け及び地区目標に向けてのクラブから要請がありましたらアドバイザーのPGの指導のもと、地区委員が各グループのクラブで会員増強の卓話を行って参ります。

2830地区は、2025年度までに「会員数1,200人」に達していないと存続出来なくなり、合併になります。地区として存続できる最低ラインがあります。何としても新クラブ結成、会員増強、退会防止が必要です。それによって、クラブの財政や奉仕活動推進のために、大きなプラスになります。

ガバナー公式訪問では、ガバナーより「再びミラクル1200実現」とひとりが一人に声掛け活動の継続を呼び掛けて頂き、グループのガバナー補佐6人方、各クラブ会長、幹事、クラブ会員増強委員方々にも、会員増強を呼び掛けて頂きたいと思えます。

次年度事業予定として セミナー・会議

5月 クラブ拡大・会員増強委員会

6月 女性会員の集い 八戸プラザホテルにて
(6月11日 アドバイザー佐々木PGのもと行います)

7月 地区会員増強セミナー

11月 地区会員増強セミナー

昨年はコロナ禍の為、会員増強委員会として事業活動が思うように開催できませんでした。築館年度では「奉仕と親睦」「例会出席」を大切にクラブ活動して頂きたいと思えます。委員会として各クラブの会員増強活動の様子、各クラブの現状を踏まえ、ご意見等お聞かせ頂き、公共イメージ委員会との連携を取り、会員基盤を広げていきたいと思えます。

目標を達成する為には、2830地区の6グループが一貫となり、そして各クラブの会長、幹事のリーダーのもと、会員皆様からのご協力のご指導をお願い申し上げます。

公共イメージ向上部門

公共イメージ向上委員会



委員長

橋本 八右衛門

八戸RC

ロータリーでは各クラブはもちろんのこと地区全体としても様々な活動をおこなっております。その活動をロータリアン以外に広く発信、紹介することにより、認識、共感してもらい、ロータリーに対して理解を深めてもらう事がこの委員会の最大の役割だと考えます。そして最終的には会員を増やし各クラブのロータリー活動の活性化につなげるよう他地区委員会と協力しながら進めていきたいと考えます。

今期の目標として3つ上げさせていただきます。

①地区公式キャラクター「ロータくん」

今年度はなんといっても地区イメージキャラクター「ロータくん」を活用です。第2830地区の存在、活動内容をより多くの人にPRするためにインターアクトの皆様のお力を借りて青森県民の皆様へ愛されるキャラクターを作りました。クラブ内外発信文書、SNS上でのシンボルとしての活用、また着ぐるみも作りましたので、地区大会、様々な主催イベントはもちろんのこと、日々の各クラブ奉仕活動、交流活動へも活用を想定しております。

②各クラブロータリアンへの意識付け活動

会員増強委員会と協力し各クラブに訪問、公共イメージ向上及び会員増強の大切さ、そしてクラブの

強化の必要性など卓話にて意識付け、またあわせて地区キャラ「ロータくん」の積極的運用の働きかけもおこなう予定です。

③世界ポリオ・デーでの積極的 PR

ポリオ根絶活動は世界中の人々に最大のインパクトをもたらしているロータリー活動のひとつです。昨年に引き続き世界ポリオ・デーでのイベントも開催予定とのことです。各委員会と協力し「ロータくん」を活用し PR を強化、効果を高めたいと考えております。

社会奉仕・職業奉仕部門

社会奉仕・職業奉仕委員会



委員長

岩岡 隆雄

八戸東RC

これまではコロナ禍の影響もありましたが、クラブ例会も徐々にリアル開催となり社会奉仕活動もいよいよ活発に行動を始める時と感じております。

例会による親睦も深まり地域への社会貢献活動を実行に移し、効果のある奉仕活動を始める年度であると思います。

また、例会プログラムに入れて頂きたい月間があります。

クラブフォーラムの開催があります。10月に社会奉仕月間を、1月には職業奉仕月間をクラブ例会にて開催して頂きたいと思っております。

地区としては、青森大学と教育連携協定による、じょっぱり経済学を継続する予定です

これは大学の学生のみならず、ケーブルテレビでの配信もあり一般の方も聴講する事が出来ます。職業奉仕を経営者みずから伝える事が出来るプログラムです。

今後も継続予定ですので講師を募集して参ります。

この後、南部版経済学の模索を進めて参ります。

地域に人材育成機関があり、その土地で育て雇用が生まれる環境づくりにロータリーの職業奉仕実践があると思います。

また、10月にはポリオ月間もありポリオ撲滅募金活動を推進します。

ご協力をお願いします。

ロータリー財団部門

ロータリー財団委員会



委員長

佐藤 健一

青森RC

1. 活動方針

- ①財団活動レベルの低いクラブを訪問し、財団の役割、必要性の理解を増進し、寄金実績を上げる
- ②全てのクラブにおいて地区補助金事業を実施する
- ③地区又はクラブにおいてグローバル補助金による事業を実施する

2. 具体的行動

- ①地区補助金・グローバル補助金による既活動記録から PR 資料を作成する
- ②クラブにおいて、補助金事業実施と寄金推進の PR を図る
- ③各クラブ担当者に対する財団セミナー、補助金管理セミナーを開催する（7月下旬、11月下旬頃）
- ④実施事業に関するメディア、SNS の活用を促進する

3. 小委員会活動

各小委員会はガバナー補佐と連携して各事業の推進を図る

- ①地区補助金委員会
- ②グローバル補助金委員会
- ③資金推進委員会
- ④平和フェロシップ・奨学金・学友委員会
- ⑤ポリオ対策委員会

ロータリー財団部門

地区補助金委員会



委員長

小田桐 隆夫

むつRC

2830地区には40RC があります。今年度の地区補助金の申請は33RC で、昨年より 5RC 増加しました。しかし7RC からの申請がありませんでした。

今年度の特徴として幼児、小・中学生、高校生な

ど子供が対象の事業が23RCとなっています。内訳は「一緒に活動する」を10RCが、次にスポーツ大会を8RCが計画している。このような事業は「公共イメージの向上」にも繋がり「社会奉仕」として地域に多大な効果があるのではないのでしょうか。

報道としてTVや新聞等にも取り上げればロータリークラブの広報になりますので各クラブの活性化をお願いします。

- 7月 財団セミナー（前年度の活動報告と23-24年度の計画案の発表）
- 8月 各クラブのプロジェクトを一括で申請（東京事務所）
全てのプロジェクトが承認された後に各RCへ送金
- 12月 財団セミナー（2024-25地区補助金の申請説明）
- 3月 新プロジェクト（2024-25地区補助金締切り）
- 5月 新プロジェクト（2024-25地区補助金審査）
決定

ロータリー財団部門

グローバル補助金委員会



委員長

川崎 益美

八戸北RC

グローバル補助金は、実施国提唱者と援助国提唱者の信頼関係のもとに、ロータリー活動の重点分野に該当し、大規模（3万米ドル以上）で持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。

提唱者は、それぞれクラブまたは地区になります。そして補助金プロジェクトの提唱者は海外のクラブや地区と協力して取り組まなければなりません。

ロータリー活動の7つの重点分野は下記になります。

- ①基本的教育と識字率向上
- ②地域社会の経済発展
- ③疾病予防と治療
- ④母子の健康
- ⑤平和構築と紛争予防
- ⑥水と衛生
- ⑦環境

2012-13年度から始まりましたグローバル補助金事業ですが、2830地区では、タイの3330地区との地区どうしでの信頼関係のもとにタイへの援助国

として活用してまいりました。これまでの補助金活用プロジェクトは、主にタイ南部地方の水質があまり良くない地域での学校等への浄水器設置事業でした。

コロナ禍の影響もあり、過去3年間はタイの病院への医療器具等の支援もしてまいりました。また、昨年はウクライナへの仮設住宅の支援を日本国内14地区と共同で実施いたしました。さらには、セルビア・ベオグラードの小学校にm Botを寄贈するプロジェクトにも協賛いたしました。

国際的なコロナ禍の緩和とタイ3330地区の地区大会参加の招待もあり、2023年3月15日～20日の日程にて、タイの現地を訪問してグローバル補助金の活用状況を確認してまいりました。

これらを踏まえて、今年度は地区内各クラブにグローバル補助金活用の実態を現地で確認した写真などを活用し広報して、啓蒙活動に取り組んでまいります。

また、これまで10年にわたり取り組んでまいりましたタイとの信頼関係を軸に、さらに可能な限り支援をして「世界で良いことをしよう」というロータリーの目的に沿った活動をしてまいります。

1年間、宜しくお願い致します。

ロータリー財団部門

資金推進委員会



委員長

小林 俊一

青森RC

- 前年同様寄付ゼロクラブがゼロとなるよう取り組んでまいります。ロータリー活動の原点、原資が各寄金です。今年度も会員皆様のご理解とご協力をお願いします。
- 今年度の会員お一人当たりの寄付金目標額は
・年次基金 150ドル ・ポリオプラス 30ドルです。
- ロータリーカードは日々のお支払いが奉仕活動に直結、毎日が奉仕活動となります。本年度は会員のホルダー数減少を食い止めカード利用件数の増加・利用金額の増加に努めます。
- 研修会等でロータリーカード会社の販促ブースを設置、会員皆様のご理解とご協力を喚起します。

- 全クラブの人頭金支払いのロータリーカード利用、一部クラブ経費支払いのカード払いが利用される一年を目指します
- 会長幹事の皆様のロータリーカードホルダー化に協力を求めてまいります
- 財団委員会主導の各クラブ訪問を実施、クラブへ財団の仕組み、寄金の必要性、ロータリーカードの有用性のご理解とご協力を仰いでまいります

ロータリー財団部門

平和フェローシップ・奨学金・学友委員会



委員長
工藤 真人
青森RC

平和フェローシップについては、毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ（全額支給の奨学金）が授与されます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費（宿舍・食費）、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。2002年に創設されて以来、ロータリー平和センターは1,400人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、115カ国以上で活躍し、政府、NGO、軍、教育、法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮していますが、提携大学院が日本は国際基督教大学その他は海外の4大学に限定されるなど選考条件も厳しい奨学制度です。

グローバル補助金奨学金は、4年制大学を修了した方（または見込みの方）を対象に、ロータリーの重点分野（・平和構築と紛争予防・疾病予防と治療・水と衛生・母子の健康・基本的教育と識字率向上・地域社会の経済発展）で活動する未来のリーダーを育成するためのものです。海外に留学を希望する、4年制大学を2年以上修了した方（または見込みの方）を対象に、ロータリー財団の奨学金を提供し、支援しています。本年は、アメリカのロズウェル癌研究所でむつ総合病院の千田ドクターが研究に励んでいます。

地区補助金奨学金は、高校3年生卒業予定者を募集して、大学へ入った際に奨学金を支給する制度です。

平和フェローシップ奨学生、グローバル補助金奨学

生、地区補助金奨学生とも今年度も募集いたします。

次年度は、これらの奨学金の募集要項などのチラシを作成し理解を深めてもらおうと考えております。

また、学友の活躍の報告や連絡網の確立に努力します。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

ロータリー財団部門

ポリオプラス委員会



委員長
森内 忠良
青森RC

築館年度は、田中年度の引き継ぎ案件と共に下記の三案を実施する。

- ①ポリオ活動出前授業
- ②ポリオ活動Tシャツ作成
- ③パキスタンポリオ投与活動

①新世代へポリオプラス活動の意義を周知するために、動画を制作し、それを使用しながら各グループ委員がインターアクトが在籍する高校に出前授業をする計画である。

成田ポリオプラス委員が第2670地区の前田氏（EPNC）が制作された動画を基に制作中である。また出前授業を行うことによって、インターアクトのみでなく、若い人へのポリオプラス活動への興味と参加を呼び込み、活動を広げる。

②ポリオプラス活動用のユニフォームとしてTシャツを作成する。身につけることによって、連帯意識を高め、楽しく活動ができ、他のイベントでも着用できる。デザインは国際標準ポリオプラスカラーの黄色をベースに、青森モーニングRCのデザイナー須藤氏が作成中である。田中ガバナー年度と築館年度のポリオプラス予算を使用し、半額は当地区が援助とする。10月22日の地区大会にはTシャツを着用し、世界ポリオデー（10月24日）を広めるためのウォークラリーを予定している。

③ポリオ常在国は、パキスタン・アフガニスタンの紛争や宗教上の問題で接種が行き届きにくいのが現状である。したがって2023年2月・3月のパキスタンポリオワクチン投与活動の実績を基に、パキスタンポリオプラス委員長アジズ氏、アリ氏にも

協力していただき、安全に投与活動を広める。今年度投与活動の予定は、2023年12月・2024年1月・2月である。

現在もロータリーの最優先事項であるポリオ根絶活動は、様々な組織、世界保健機関（WHO）やユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）、ビル&メリンダ・ゲイツ財団などと協力し、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を発足させた。

ロータリークラブが様々な組織を動かす「てこ」であり続けるために、我々の活動意義を改めて会員の皆さまと共有していきたい。

国際奉仕・青少年奉仕部門

国際奉仕委員会



委員長

白山 春男

十和田東RC

今年度は各委員会の国際奉仕に関するサポートと新規の国際奉仕に対する作業に着手したいとおもいます。

国際奉仕・青少年奉仕部門

青少年交換委員会



委員長

岡山 信広

六ヶ所RC

築館ガバナーから拝命し、前年度に引き続き2023-24年度の青少年交換委員会（以下、RYE）委員長を務めさせていただきます六ヶ所RCの岡山です。

ロータリー青少年交流の主な目的は、『海外文化交流の機会、および平和と社会正義を推進するリーダーとして成長する機会を青少年に提供する』ことです。青森県内の15～19歳の学生がこのプログラムを活用して素晴らしい国際人・社会人になることを期待して奉仕したいと考えております。

当地区ロータリアンの皆様におかれましてはプロ

グラムの趣旨をご理解頂き、派遣学生やホストファミリーのご紹介についてご協力を賜ればと存じます。

2022年8月に交換留学生を2名派遣したことをご報告させていただきます。弘前RCがスポンサーで八戸北高校2年生の楠木日向さん、六ヶ所RCがスポンサーでウルスラ高校3年生の橋本芽依さんです。この二人は月次レポートでは充実した留学生生活を過ごしている様子です。

また楠木日向さんとの交換で受入したしたのはアメリカ合衆国7040地区からQuinlyn Tucker REEDさんです。日本語の習得に苦勞しているようですが学校でも友人が出来て充実した留学生生活をしている様子です。

加えて、2023-24年度の交換留学生候補は松風塾高校1年生の柴田玲音くんです。スポンサークラブは青森RCです。交換先もアメリカ合衆国が内定しており2024年8月の出国に向けての研修を重ねておりRI2830地区の小さな親善大使として成長しております。

当委員会の役割と活動項目は以下の通りです。

- ①派遣候補学生の募集と選定
- ②派遣候補学生の教育、派遣可否の判断
- ③派遣候補学生とスポンサークラブの引合せ
- ④スポンサークラブが実施するホストファミリー選定・教育の援助
- ⑤交換学生のマッチングと、交換準備から交換終了まで派遣先国窓口との調整
- ⑥県内在住およびRID 2830派遣 ROTEX との関係維持
- ⑦クラブおよび地区委員会委員の教育（YESS、RIJYEM 保険、4D、など）
- ⑧RIJYEM ⇄ RID 2830 ⇄ スポンサークラブの関係維持

ロータリー青少年交換事業は大変素晴らしい事業だと1年強の地区委員会活動で感じております。日本国内最小の当地区で継続できますよう会員皆様のご理解ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

国際奉仕・青少年奉仕部門

インターアクト委員会



委員長

松山 隆志

野辺地RC

例年、インターアクト委員会の活動の大きな柱は①インターアクト年次大会を開催する ②インターアクトの翼を実施する ③ガバナー表彰の実施の3つです。

現在地区内には21のインターアクトクラブが組織されていますが、多くのクラブがコロナ禍の影響によりここ何年か思い通りの活動ができない状態が続いているとのこと。そろそろ以前の状態に近づけ活発な奉仕活動を実現していただくよう委員会としてそのサポートのために鋭意努力していきたいと思っております。

①インターアクト年次大会

地区内21校に組織されたインターアクトクラブのメンバーが一堂に会し、その活動についての情報を報告し合うとともに、寝食も含め共働することによって友情と親睦を深めることを目的とします。例年、各高校の夏休み期間中にホスト校と提唱クラブの協力により特色のある大会を盛大に開催しています。開催時期、開催方法、大会内容などを慎重に検討した上で「開催」に向けて行動したいと思っております。

②インターアクトの翼

高校の冬休み期間を使いインターアクターを海外へ派遣。現地の家庭にホームステイしながら短期間ではありますが異郷での生活を体験、現地高校生との交流によって、その後の人生への糧としてもらう大変有意義な企画です。前年度は、台湾の現地ロータリークラブの多大なる協力により実現。温かく迎入れて頂き、大きな成果をあげています。出発前の不安と期待でどどおどしていた参加者が帰りの飛行機の中では堂々とした顔つきになっているのを目の当たりにすると、是非継続していきたいと思える事業です。関係方面と広く協議の上、継続実施する方向で調整を重ねていきたいと思っております。

③ガバナー表彰の実施

インターアクターの在学中の積極的な奉仕活動に対して卒業時に顕彰を行います。

定例の委員会活動として上記3つを継続実施しますが、今年度は築館ガバナーの指示により次の活動も実施して参ります。

④「ポリオ活動」「Rotary クラブ紹介」出前授業の実施

インターアクトクラブのある高校に出向き、標記テーマに関する出前講座を実施します。

RIが取り組む「ポリオ撲滅運動」を高校生に紹介、若年層のポリオについての認知度向上によりその活動をより活発化させその撲滅実現に寄与することと、ロータリークラブの活動内容等をPRすることにより「Rotary クラブ」に興味・親しみを持っていただき、共に奉仕活動を実践する親しみを持ってもらう事を目的とします。

今年度はさらに各提唱クラブに対し「各校インターアクトクラブへの指導をより推進すること」をお願いしたいと思います。各クラブ毎、それぞれの方法でインターアクトクラブへの関与を進めているとは思いますが、コロナ禍の中、ここ数年奉仕活動等の内容、実施方法等について方向性を見いだせずにいるインターアクトクラブも多いものと推察します。一歩踏み込んだ関与によりその一助になれば、より効果的な活動を実行することが出来るものと考えます。各提唱クラブのインターアクト担当の方は、無理のない程度積極的に学校へ足を運び、高校生達と「話」をしてみませんか。

以上、今年度は、アフターコロナを見据え、飛躍の年度となるよう進めていきたいと思っております。

すべてはインターアクターのために……。

国際奉仕・青少年奉仕部門

ローターアクト委員会



委員長

柴田 文彦

むつ中央RC

ローターアクトクラブは、クラブの組織、運営、資金管理等を自ら決定実施することができるようになり、また30歳までの年齢制限が無くなる等によって自立を促し、活気ある変化を期待されています。しかしながら当地区の現状ではコロナ禍の影響で活動の後退化が進んでいます。このことからスポンサークラブからは継続的に力強い支援をお願いしたいと

思います。また、スポンサークラブ、スポンサークラブでないクラブでも奉仕活動実施の際にロータリーアクトクラブに参加協力を要請し、共に活動していただくことをお願いします。

〈実施予定〉

- スポンサークラブを通して各クラブの実態調査
- 地区ロータリーアクト委員会設立
- 地区ロータリーアクト年次大会の実施

国際奉仕・青少年奉仕部門

RYLA 委員会



委員長
三浦 基
青森RC

RYLAとは「R」otary「Y」outh「L」eadership「A」wardの略称であり青少年（18～30歳くらいまで）に学びの機会を提供し、その学びについて話し合い、話し合った結果を発表し、それを講評し表彰することでリーダーの素養を醸成するプログラムです。

新型コロナウイルス感染拡大により沼田PG年度は中止・源新PG年度はWEB開催・成田PG年度は中止・田中G年度で復活（この原稿時点ではまだ開催してませんが）します。

2023年6月3日・4日青森市国際交流センターにて40人程度1泊2日での開催となります。

講師（予定）

- 1日目 日本銀行 青森支店 支店長
武藤一郎氏（青森RC）
- 2日目 ㈱秀寿司 代表取締役
桑田秀美氏（青森RC）

築館年度では前年度に実践してみてもの教訓を生かしてブラッシュアップさせ、1泊2日での開催に変更はなしですが、開催場所・テーマ・講師について委員会で話し合い実行いたします。

7月の年度初めの段階では地区内6グループ全てから委員を輩出いただいている予定ですので委員会の打合せについてはZOOMを使用しながら無駄な移動が無い様に心がけます。

花田年度ではRYLAの委員長を別の方になっている予定ですので、委員の皆様・地区内青少年奉仕系委員の皆様は「次年度は私が委員長かもしれない」

の気持ちを持ち続けていただきますようお願い申し上げます。

現在決定しているのは開催日程のみで、2024年6月8日(土)・9日(日)を予定してございますので、皆様におかれましてはスケジュールを空けておいていただきますようお願い申し上げます。

米山記念奨学部門

米山記念奨学委員会



委員長
野坂 幸子
野辺地RC

米山記念奨学事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す平和と国際理解の推進そのものです。

日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。

1. 寄付金について

◎特別寄付は、一人2万円以上を目標額としてお願い致します。

◎普通寄付一人3千円以上を目標額としましたクラブ会費からお願い致します。

◎地区としては、寄付金ゼロクラブを無くするように呼び掛けていきます。

2. 米山奨学生について

◎2023年度は、優秀な13名の奨学生のお世話を致します。新奨学生は12名です。初めて八戸学院大学からと久しぶりに北里大学からの奨学生がおりますので広い地域と多くの会員の皆様にお世話になります。

3. 米山奨学生との交流について

◎奨学生とロータリアンの交流は、世話クラブの例会や行事に出席して、カウンセラー様が相談役となりスムーズに行われています。

◎他のクラブとの交流は、卓話訪問を通して交流を図る事が出来ますので卓話の申込を宜しくお願い致します。

◎奨学生は、地区大会等の地区行事やクラブを通してグループ等の奉仕活動交流へも参加しますのでご連絡下さい。

4. 優秀な人材の選考について

- ◎指定校より優秀な留学生を推薦して頂きます。
- ◎提出されて書類審査と面接選考で決定します。

5. 主な行事

- 5月27日(土) 卓話講習会
- 12月2日(土) 奨学生面接選考試験
- 3月2日(土) 米山奨学生修了式
- 4月6日(土) 新米山奨学生とカウンセラーオリエンテーション

ロータリー・リーダー・シップ研究会

RLI委員会



委員長

米谷 恵司

青森モーニングRC

RLI委員会委員長を5年連続で拝命致します青森モーニングロータリークラブ所属の米谷恵司です。

RLI(Rotary Leadership Institute)はロータリーリーダーシップ研究会の略語で、1992年アメリカ、ニュージャージー州の元RI理事デビット・リンネット氏の発案で始められました。そして現在は全世界110ヶ国、約300近い地区にロータリーの研究、研修組織として発展しております。また、我が地区はRLIの先進地区となっており、山崎パストガバナーはRLI日本支部地区支援チームサブリーダー、源新パストガバナーはRLI地区代表委員としてご活躍されており、沢山のご指導をいただいております。

RLIの研修は予め決められたテーマのもと皆様で自由に意見を出し合うスタイルで行われます。そしてディスカッションリーダー(DL)は進行役として質問を投げかけながら参加者の自発的な考えや意見を引き出していきます。参加者は解答を求めるのではなく、テーマに対する参加者の発言を聞き、自分自身の解答や方向性を見出す研修になっています。この手法はロータリークラブの将来展望を考えるにあたり、クラブを牽引するリーダーの育成、そしてクラブの継続性、刷新性、活性化を図るうえで最も重要な事だと考えます。その為にはロータリアン各自のスキルアップが必要不可欠です。それを実現する為是非ともRLIを活用して頂きたいと考えております。

次年度活動計画は以下の通りです。

1. RLIの開催(1泊2日の集中研修)
2. リアルとZOOMでのハイブリッド研修
3. ディスカッションリーダーバンクの充実(地区グループのバランスを考慮)
4. ディスカッションリーダーの資質向上、レベルアップを目指し年数回の研修会の開催
5. 地区認定DLの増大
6. グループ毎にRLI出張講座の開催

RLI委員会は皆様クラブの益々の発展、活性化の為、精一杯お手伝いする所存でございますので、多数の参加を宜しくお願い申し上げます。



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第2830地区 地区案内

地区組織図	20
地区委員会構成	21
地区主要行事予定表	22
ガバナー公式訪問予定表	23
ガバナー公式訪問カレンダー	24
地区予算書	25
特別会計収支計算書	26
委員会活動予算書	26
送金カレンダー	27
報告カレンダー	28
ロータリー関係事務所一覧	29
地区内クラブ一覧表	30
地区事務所組織表	32



2023-24年度 地区組織図

R I 会長 ゴードンR.マッキナリー (South Queensferry RC) スコットランド
R I 理事 佐藤 芳部 2022~24年度 (岡山南)

◎委員長 ○副委員長 (敬称略順不同)

Table with financial and administrative information including (公財)ロータリー米山記念奨学会, 理事 (2022~24年) 沼田 廣 (青森), 評議員 (2023~27年) 田中 常浩 (むつ), 財務委員会委員長 (2022~23年) 沼田 廣 (青森), and 全国RYLA連絡会.

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) table listing RLJ地区代表委員 (任期3年) 源新 和彦 (八戸北) and various members like ◎米谷 恵司 (青森モーニング), 欠畑 茂治 (十和田東), etc.

ロータリー・リーダーシップ研究会 (RLI) table listing 元RI理事 黒田 正宏 (八戸南), 第1地域ロータリーコーディネーター補佐 今井 高志 (弘前), etc.

ガバナー 築館 智大 (八戸)

副ガバナー 田中 常浩 (むつ)

ガバナーエレクト 花田 勝彦 (五所川原)

ガバナーノミニー 米谷 恵司 (青森モーニング)

ガバナー補佐 table listing 東第1グループ 峯 雅夫 (むつ), 東第2グループ 吉田 敏宏 (おいらせ), etc.

地区諮問委員会 table listing 黒田 正宏 (八戸南), 関場 慶博 (弘前アップル), etc.

ガバナー指名委員会 table listing 今井 高志 (弘前), ◎沼田 廣 (青森), etc.

国際大会推進委員会 (シンガポール) ◎夏堀 礼二 (八戸) ガバナー補佐6名

地区大会 ◎妻神 和恵 (八戸) ホストクラブ 八戸RC, etc.

地区研修委員会 研修リーダー 源新 和彦 (八戸北), 副研修リーダー 山崎 淳一 (五所川原)

地区チーム研修セミナー(DTTS) ◎鶴岡 寿栄 (八戸), ◎道尻 誠助 (八戸)

会長エレクト研修セミナー(PETS) ◎鶴岡 寿栄 (八戸), ◎道尻 誠助 (八戸)

地区研修・協議会(DTA) ◎小井田和哉 (八戸), ◎深澤 隆 (八戸)

地区指導者育成セミナー

危機管理委員会 ◎鈴木 唯司 (PG-医師), 築館 智大 (ガバナー), etc.

戦略計画委員会 ◎今井 高志 (弘前), 築館 智大 (八戸), etc.

地区監査委員会・地区財団監査委員会 ◎北山 輝夫 (八戸北), 島浦 理 (八戸西), etc.

ロータリーの友地区代表委員 石川佳共子 (青森)

地区財務委員会 ◎小林 幹夫 (八戸), 宮川 紀男 (むつ), etc.

顧問 村井 達 (八戸), 地区幹事 石橋 信雄 (八戸), etc.

I M

地区表彰委員会 ◎田中 常浩 (むつ), 築館 智大 (八戸), etc.

会員増強部門 アドバイザー 小山内康晴 (弘前), 副 佐々木千佳子 (十和田), etc.

公共イメージ向上部門 アドバイザー 今井 高志 (弘前), 副 成田 秀治 (弘前), etc.

社会奉仕・職業奉仕部門 アドバイザー 工藤 武重 (弘前西), 副 長嶺 康廣 (八戸南), etc.

ロータリー財団部門 アドバイザー 村井 達 (八戸), 副 山崎 淳一 (五所川原), etc.

地区補助金委員会 ◎小田桐隆夫 (むつ), 宮崎 敬也 (五所川原中央), etc.

グローバル補助金委員会 ◎川崎 益美 (八戸北), 朝倉 和弘 (弘前東), etc.

資金推進委員会 ◎小林 俊一 (青森), 越田 忠和 (青森)

平和フロンシップ・奨学金・学友委員会 ◎工藤 真人 (青森), 宮本 達子 (青森)

ポリオプラス委員会 ◎森内 忠良 (青森), 成田 俊介 (弘前西), etc.

国際奉仕・青少年奉仕部門 アドバイザー 沼田 廣 (青森), 副 田中 常浩 (むつ), etc.

青少年交換委員会 ◎岡山 信広 (六ヶ所), 小田 優吉 (六ヶ所), etc.

ロータリーアクト委員会 ◎柴田 文彦 (むつ中央), 丸海老 隆 (五所川原), etc.

RYLA委員会 ◎三浦 基 (青森), 百田 忠 (野辺地), etc.

米山記念奨学部門 アドバイザー 北山 輝夫 (八戸北), 副 鈴木 唯司 (むつ), etc.

ロータリーアクト地区代表

2023-24年度 地区委員会構成

◎委員長 ○副委員長 (敬称略、順不同)

ガバナー顧問	築館 智大 (八戸)	村井 達 (八戸)
ガバナーエレクト	花田 勝彦 (五所川原)	
副ガバナー	田中 常浩 (むつ)	
研修委員会	◎源新 和彦 (八戸北)	○山崎 淳一 (五所川原)
ガバナー指名委員会	今井 高志 (弘前)	◎沼田 廣 (青森)
	田中 常浩 (むつ)	源新 和彦 (八戸北)
		成田 秀治 (五所川原イヴニング)
地区諮問委員会	黒田 正宏 (八戸南)	関場 慶博 (弘前アップル)
	笹森 剛 (弘前)	鐘ヶ江義光 (八戸東)
	小山内康晴 (弘前)	北山 輝夫 (八戸北)
	長嶺 康廣 (八戸南)	佐々木千佳子 (十和田)
	源新 和彦 (八戸北)	成田 秀治 (五所川原イヴニング)
		大柳 繁造 (青森)
		山崎 淳一 (五所川原)
		工藤 武重 (弘前西)
		今井 高志 (弘前)
		田中 常浩 (むつ)
		島村吉三久 (五所川原イヴニング)
		村井 達 (八戸)
		鈴木 唯司 (青森モーニング)
		沼田 廣 (青森)
財務委員会	◎小林 幹夫 (八戸)	宮川佐紀男 (むつ)
地区表彰委員会	◎田中 常浩 (むつ)	築館 智大 (八戸)
国際大会推進委員会	◎夏堀 礼二 (八戸)	ガバナー補佐6名
RLI委員会	【日本支部顧問】黒田 正宏 (八戸南)	【日本支部地区支援チームサプリーダール】山崎 淳一 (五所川原)
	◎米谷 恵司 (青森モーニング)	欠畑 茂治 (十和田東)
	西田 文仁 (青森)	瀬川 孝友 (青森)
	道尻 誠助 (八戸)	
		三浦 真介 (弘前)
		石川佳共子 (青森)
		最上 伸子 (青森モーニング)
		橋 正弘 (青森モーニング)
戦略計画委員会	◎今井 高志 (弘前)	築館 智大 (八戸)
	花田 勝彦 (五所川原)	ガバナー補佐6名
		成田 秀治 (五所川原イヴニング)
		田中 常浩 (むつ)
危機管理委員会	◎鈴木 唯司 (パストガバナー・医師)	築館 智大 (ガバナー)
	橋本八右衛門 (公共イメージ向上)	白山 春男 (国際奉仕)
	柴田 文彦 (ローターアクト)	三浦 基 (RYLA)
	葛原 香織 (外部)	(外部)
		田中 常浩 (直前ガバナー)
		岡山 信広 (青少年交換)
		野坂 幸子 (米山記念奨学)
		花田 勝彦 (ガバナーエレクト・弁護士)
		松山 隆志 (インターアクト)
地区監査委員会・地区財団監査委員会	◎北山 輝夫 (八戸北)	島浦 理 (八戸西)
		高木 邦男 (五所川原中央)
ガバナー補佐	東第1グループ：峯 雅夫 (むつ)	東第2グループ：吉田 敏宏 (おいらせ)
	西第1グループ：高瀬 英人 (五所川原)	西第2グループ：工藤 孝子 (弘前東)
	中グループ：工藤 真人 (青森)	南グループ：吉田 賢治 (八戸南)
ロータリーの友地区代表委員	寺田 政史 (五所川原中央)	

会員増強部門	アドバイザー： 小山内康晴PG 副：佐々木千佳子PG	クラブ拡大・会員増強委員会	◎今 春淑 (十和田甲)	米内山正義 (七戸)	三浦 敏明 (十和田甲)
			寺田 和仁 (五所川原)	船越 則孝 (大鰐)	宮本 達子 (青森)
			浜谷 英幸 (八戸)		
公共イメージ向上部門	アドバイザー： 今井 高志PG 副：成田 秀治PG	公共イメージ向上委員会	◎橋本八右衛門 (八戸)	光野恵美子 (むつ)	花田 仁 (三沢東)
			赤城麻依子 (五所川原イヴニング)	中畑 肇 (弘前西)	三枝慎太郎 (青森)
			吉田 立盛 (八戸南)		
社会奉仕・職業奉仕部門	アドバイザー： 工藤 武重PG 副：長嶺 康廣PG	社会奉仕・職業奉仕委員会	◎岩岡 隆雄 (八戸東)	蛭沢 公洋 (東北)	伊東 睦 (三沢東)
			長谷川 通 (五所川原)	蒔苗 俊二 (弘前西)	榎引 大樹 (青森)
			岡崎 孝文 (八戸)	菊地 泰弘 (八戸東)	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	地区補助金委員会	◎小田桐隆夫 (むつ)	宮崎 敬也 (五所川原中央)	林 均 (青森)
			大中 大輔 (青森)	新岡壮太郎 (青森モーニング)	松本 剛典 (八戸)
			西尾 和樹 (八戸南)		
			◎川崎 益美 (八戸北)	朝倉 和広 (弘前東)	源新 育子 (八戸北)
			◎小林 俊一 (青森)	越田 忠和 (青森)	
			◎工藤 真人 (青森)	宮本 達子 (青森)	
			◎森内 忠良 (青森)	成田 俊介 (弘前西)	土橋 伸行 (青森モーニング)
			東海林 優 (むつ中央)		
国際奉仕・青少年交換部門	アドバイザー： 沼田 廣PG 副：田中 常浩直前G	国際奉仕委員会	◎白山 春男 (十和田東)	楠美 知剛 (青森)	紺野 広 (八戸)
			◎岡山 信広 (六ヶ所)	小田 優吾 (六ヶ所)	細川 勝也 (弘前)
			白鳥 五大 (青森)	夏川戸 斉 (八戸)	石橋 伸之 (八戸東)
			◎松山 隆志 (野辺地)	太田 薫 (十和田)	石橋 博仁 (三沢)
			太田 哲也 (弘前)	村塚 正隆 (青森モーニング)	正部家淳司 (八戸)
			伊藤 圓子 (八戸中央)		
			◎柴田 文彦 (むつ中央)	丸海老 隆 (五所川原)	小枝 花奈 (青森)
			正部家光彦 (八戸)		
			◎三浦 基 (青森)	百田 忠 (野辺地)	河端 一秀 (弘前)
			竹内 知弘 (弘前西)	三戸 靖史 (五所川原イヴニング)	須藤 一幸 (青森モーニング)
米山記念奨学部門	アドバイザー： 北山 輝夫PG 副：鈴木 唯司PG	米山記念奨学委員会	◎野坂 幸子 (野辺地)	清藤 繁光 (五所川原)	高井 孝治 (つがる)
			工藤 孝子 (弘前東)	佐藤玲恵子 (弘前西)	佐藤 一尚 (青森)
			山村 和芳 (八戸)	工藤 高明 (三戸)	

地区事務所	地区幹事長	石橋 信雄 (八戸)
	地区副幹事長	妻神 和憲・鶴飼 寿栄・小井田和哉 (八戸)
	地区会計長	村館 珠樹 (八戸)
	地区幹事	佐々木泰宏・道尻 誠助・紺野 広・松本 剛典 深澤 隆・夏堀 礼二・渡辺 孝・中村 稔彦 (八戸)
	専属事務局長	浅利 育子

2023-24年度 地区主要行事予定表

開催年月日		行事名	開催場所	
2023	7月	1日(土)	第1回ガバナー会議/ガバナー・元・次期ガバナー懇談会	グランドプリンスホテル高輪
		9日(日)	第1回RLI委員会	はまなす会館
		15日(土)	第1回財団セミナー	アスパム
	9月	4日(月)～5日(火)	ガバナーエレクト研修セミナー《GETS#1》	グランドプリンスホテル新高輪
		6日(水)	2024-25年度の地区研修リーダーのためのセミナー《DTS》	ザ・プリンスさくらタワー東京
	10月	15日(日)	RLIディスカッションリーダー研修会①	はまなす会館
		20日(金)	地区大会記念ゴルフ・RI会長代理歓迎晩餐会	八戸カントリークラブ 八戸グランドホテル
		21日(土)	地区大会・大懇親会	八戸市公会堂 プラザアーバンホール
		22日(日)	地区大会	八戸市公会堂
	11月	11日(土)～12日(日)	RLI	はまなす会館
		18日(土)	会員増強セミナー	八戸市内
		19日(日)	ロータリー財団地域セミナー	神戸ポートピアホテル 他
		20日(月)	ガバナーエレクト研修セミナー《GETS#2》、 ガバナーノミニー研修セミナー(GNTS)、 メジャードナー午餐会、第2回ガバナー会議ほか	神戸ポートピアホテル 他
		21日(火)～22日(水)	第52回ロータリー研究会	神戸ポートピアホテル 他
		25日(土)	ガバナーエレクト国際協議会出席壮行会	ホテル青森
12月	2日(土)	次年度のための新米山奨学生面接選考試験	未定	
2024	1月	7日(日)～11日(木)	ガバナーエレクト国際協議会	アメリカフロリダ州オーランド
	2月	17日(土)	2024-25年度のための地区チーム研修セミナー(DTTS)	五所川原商工会館 ホテルサンルート五所川原
	3月	2日(土)	米山奨学生 修了証書授与式	未定
		10日(日)	仮) RLIディスカッションリーダー研修会②	未定
		23日(土)～24日(日)	2024-25年度のための 会長エレクト研修セミナー(PETS)	オルテンシア ホテルサンルート五所川原
	4月	6日(土)	米山新奨学生とカウンセラーオリエンテーション	未定
		18日(木)～19日(金)	クラブ活性化セミナー2024	未定
	5月	18日(土)～19日(日)	2024-25年度のための地区研修・協議会(DTA)	オルテンシアほか
		25日(土)	米山卓話講習会	未定
		25日(土)～29日(水)	ロータリー国際大会	シンガポール
	6月	8日(土)～9日(日)	RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)	未定
	10月	12日(土)	地区指導者育成セミナー・RI会長代理歓迎晩餐会	オルテンシア ホテルサンルート五所川原
13日(日)		地区大会・大懇親会	オルテンシア プラザマリユウ	

2023-24年度 ガバナー公式訪問予定表

	クラブ名	例会日	会長・幹事面談	クラブ協議会	公式訪問例会	例会場所
東第1グループ	む つ	7月4日 (火)	16:00~	17:00~	18:00~19:00	むつグランドホテル
	野 辺 地	7月18日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	松山旅館
	七 戸	7月20日 (木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	七戸商店会協同組合 2F
	東 北	9月4日 (月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	青森原燃テクノロジーセンター
	む つ 中 央	10月4日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	はねやホテル
	六 ケ 所	8月17日 (木)	10:00~	11:00~	12:00~13:00	スパハウスろっかぽっか
東第2グループ	三 沢	10月24日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	きざん三沢
	十 和 田	8月22日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	サン・ロイヤルとわだ
	十 和 田 東	9月7日 (木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	サン・ロイヤルとわだ
	お い ら せ	9月13日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	レストランカワヨグリーンロッヂ
	三 沢 東	9月14日 (木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	きざん三沢
	十 和 田 八 甲	9月6日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	サン・ロイヤルとわだ
西第1グループ	五 所 川 原	7月26日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテルサンルート五所川原
	金 木	7月25日 (火)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	奴寿し
	鱈 ケ 沢	7月13日 (木)	16:00~	17:00~	18:00~19:00	水軍の宿
	鶴 田	7月24日 (月)	10:00~	11:00~	12:00~13:00	鶴田町役場国際交流会館
	五 所 川 原 中 央	7月27日 (木)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	ホテルサンルート五所川原
	つ が る	7月25日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	つがる市商工会 2F
	五所川原イヴニング	10月12日 (木)	15:00~	16:00~	17:00~18:00	ホテルサンルート五所川原
西第2グループ	弘 前	7月31日 (月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	RAGLEY (ラグリー)
	弘 前 東	8月2日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	アートホテル弘前シティ
	板 柳	8月1日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	板柳町商工会館 2F
	黒 石	8月24日 (木)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	赤提灯 2F
	大 鱈	8月8日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	山忠会館
	弘 前 西	9月19日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	創作郷土料理の店 菊富士本店
	平 賀 ・ 尾 上	9月19日 (火)	16:00~	17:00~	18:30~19:30	平川市尾上庁舎 3F アレンジメント室
	弘 前 ア ッ プ ル	7月31日 (月)	17:00~	18:00~	19:00~20:00	弘前総合学習センター
中グループ	青 森	8月31日 (木)	16:00~	17:00~	18:00~20:00	ホテル青森
	青 森 北 東	8月30日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテル青森
	青 森 中 央	8月28日 (月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	ホテル青森
	青森モーニング	8月29日 (火)	10:00~	11:00~	12:00~13:00	ホテル青森
南グループ	八 戸	10月25日 (水)	16:30~	17:30~	18:30~19:30	八戸グランドホテル
	八 戸 東	9月29日 (金)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸グランドホテル
	三 戸	8月23日 (水)	15:00~	16:00~	17:00~18:00	田岩本店 2F
	五 戸	9月27日 (水)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	アピル五戸
	南 部	10月17日 (火)	10:00~	10:30~	11:00~12:00	バーデパーク アヴァンセ
	八 戸 北	9月26日 (火)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 南	9月28日 (木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸パークホテル
	八 戸 中 央	9月25日 (月)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸プラザホテル
	八 戸 西	10月5日 (木)	10:00~	11:00~	12:30~13:30	八戸プラザホテル

2023-24年度 ガバナー公式訪問カレンダー

	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
7月							1
	2	3	4	5	6	7	8
			むつ 16:00~				
	9	10	11	12	13	14	15
					鱒ヶ沢 16:00~		
	16	17	18	19	20	21	22
		海の日	野辺地 10:00~		七戸 10:00~		
	23	24	25	26	27	28	29
		鶴田 10:00~	つがる 10:00~ 金木 16:00~	五所川原 10:00~	五所川原中央 16:00~		
30	31						
	弘前 10:00~ 弘前アップル 17:00~						
8月			1	2	3	4	5
			板柳 10:00~	弘前東 10:00~			
	6	7	8	9	10	11	12
			大鰐 10:00~			山の日	
	13	14	15	16	17	18	19
					六ヶ所 10:00~		
	20	21	22	23	24	25	26
			十和田 10:00~	三戸 15:00~	黒石 16:00~		
27	28	29	30	31			
	青森中央 10:00~	青森モーニング 10:00~	青森北東 10:00~	青森 16:00~			
9月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
		東北 10:00~		十和田八甲 10:00~	十和田東 10:00~		
	10	11	12	13	14	15	16
				おいらせ 10:00~	三沢東 10:00~		
	17	18	19	20	21	22	23
		敬老の日	弘前西 10:00~ 平賀・尾上 16:00~				秋分の日
	24	25	26	27	28	29	30
	八戸中央 10:00~	八戸北 10:00~	五戸 10:00~	八戸南 10:00~	八戸東 10:00~		
10月	1	2	3	4	5	6	7
				むつ中央 10:00~	八戸西 10:00~		
	8	9	10	11	12	13	14
		スポーツの日			五所川原イヴニング 15:00~		
	15	16	17	18	19	20	21
			南部 10:00~				
	22	23	24	25	26	27	28
			三沢 10:00~	八戸 16:30~			
29	30	31					

2023-24年度 地区予算書

〔事業活動収入の部〕

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
地区資金	一般会費収入 (@25,000円)	28,250,000	28,750,000	-500,000	25,000円×1,130名
	特別会費収入	3,051,000	3,105,000	-54,000	2,700円×上下期会員数 (協力金)
RIガバナー基本業務交付金		1,025,830	868,296	157,534	
雑収入	利息等	0	300	-300	
	合 計	32,326,830	32,723,596	-396,766	

〔事業活動支出の部〕

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
1. 事業支出	計	23,537,950	23,572,250	-34,300	
①会議・研修費支出	計	7,200,000	7,200,000	0	
	会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	0	規定上限 40万 地区運営資金要綱 (5)
	地区チーム研修セミナー	400,000	400,000	0	規定上限 40万 以下省略 (14)
	地区研修委員会	100,000	100,000	0	規定上限 20万 (15)
	地区研修・協議会	400,000	400,000	0	規定上限 40万 (1)
	IM (グループ合同会議)	600,000	600,000	0	グループ各10万×6地区 (3)
	地区大会	5,000,000	5,000,000	0	
	// (運営資金要綱によるもの)	300,000	300,000	0	規定上限 30万 (2)
②運営活動支出	計	940,000	1,000,000	-60,000	
	諮問委員会	250,000	250,000	0	
	ガバナー補佐会議	100,000	200,000	-100,000	
	戦略計画会議	100,000	100,000	0	
	地区危機管理委員会	50,000	50,000	0	
	// 実務活動費 (事故発生時)	100,000	100,000	0	
	// RIJYEM	100,000	100,000	0	保険加入
	RLI委員会	240,000	200,000	40,000	
③委員会活動	計	5,550,000	5,550,000	0	
	クラブ奉仕部門 (会員増強)	300,000	300,000	0	
	クラブ奉仕部門 (広報・IT→公共イメージ)	1,100,000	1,100,000	0	
	社会奉仕・職業奉仕部門	400,000	400,000	0	
	国際奉仕部門	300,000	300,000	0	
	ロータリー財団部門	750,000	750,000	0	ポリオ対策費含む
	青少年奉仕部門 (青少年交換委員会)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会などへの参加費補助を含む
	// (インターアクト委員会)	400,000	400,000	0	
	// (ローターアクト委員会)	500,000	500,000	0	
	// (ライラ委員会)	600,000	600,000	0	
	米山記念奨学会部門	400,000	400,000	0	
④活動助成金支出	計	7,000,000	6,800,000	200,000	
	ガバナー活動助成金	2,000,000	2,000,000	0	規定上限 200万 (12)
	ガバナー活動 (公式訪問費用)	800,000	800,000	0	
	ガバナーエレクト活動助成金	400,000	400,000	0	規定上限 40万 (7)
	ガバナーノミニー活動助成金	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (18)
	ガバナー補佐活動助成金	1,000,000	1,000,000	0	40クラブ×2,5000 規定(6)
	青少年交換受入クラブ助成金	400,000	400,000	0	受け入れクラブ20万円×2クラブ
	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	300,000	300,000	0	規定上限 30万 (8)
	ガバナーエレクト研修セミナー参加助成金	200,000	200,000	0	規定上限 20万 (16)
	国際大会地区代表出席者参加助成金	300,000	300,000	0	規定上限 30万 (11)
	RI諸事業参加助成金	1,200,000	1,000,000	200,000	規定上限 200万 (17)
	他地区交流助成金	300,000	300,000	0	タイ水事業他
⑤地区拠出金支出	計	807,950	822,250	-14,300	
	ガバナー運営協力金	226,000	230,000	-4,000	1,130名×100円×2
	ロータリー文庫協力金	226,000	230,000	-4,000	1,130名×100円×2
	米山梅吉記念館協力金	113,000	115,000	-2,000	1,130名×100円
	RI日本青少年交換委員会協力金	226,000	230,000	-4,000	1,130名×100円×2
	平和奨学生支援金	16,950	17,250	-300	1,130名×15円
⑥その他事業費	計	2,040,000	2,200,000	-160,000	
	表彰状・記念品代	400,000	400,000	0	
	ガバナーエレクト壮行会	400,000	400,000	0	規定上限 40万 (4)
	直前ガバナー引退記念品代	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (9)
	ガバナー月信	20,000	100,000	-80,000	
	送料・写真代・ファイル代支出	20,000	100,000	-80,000	
	新設クラブ助成金	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (10)
	地区規定による旅費交通費支出	1,000,000	1,000,000	0	
2. 管理費支出	計	8,350,000	8,600,000	-250,000	
	地区事務所管理費	8,050,000	8,300,000	-250,000	
	// (ガバナーエレクト分)	300,000	300,000	0	
3. 特別資産取得支出	規定審議会代議員旅費助成積立金	100,000	100,000	0	規定上限 10万 (13)
4. 予備費支出	予備費	338,880	451,346	-112,466	
	合 計	32,326,830	32,723,596	-396,766	

内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
一般会計収入予定額	32,326,830	32,723,596	-396,766	
一般会計支出予算額	32,326,830	32,723,596	-396,766	
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	21,607,370	21,607,370	0	2021-22年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	21,607,370	21,607,370	0	

2023-24年度 特別会計収支計算書

国際平和資金 特別会計

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	献金収入	1,695,000	1,725,000	-30,000	1,500円×1,130名
	雑収入			0	
	収入計	1,695,000	1,725,000	-30,000	

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
支 出	国際奉仕部門 (新規事業調査他)	300,000	300,000	0	
	青少年奉仕部門 (アクト交流会)	1,100,000	1,100,000	0	
	予備費 (災害支援他)	295,000	325,000	-30,000	
	支出計	1,695,000	1,725,000	-30,000	

内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
差引残高	0	0	0	
前年度繰り越し予定額	9,524,493	9,524,493	0	2021-22年度末次期繰越額
次期繰り越し予定額	9,524,493	9,524,493	0	

米山記念奨学会 特別会計

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
収 入	米山記念奨学会交付金	580,000	580,000	0	米山記念奨学会より
	米山奨学生選考試験補助費	140,500	140,500	0	米山記念奨学会より
	委員会活動費	400,000	400,000	0	地区一般会計より
	ロータリアン会費	100,000	100,000	0	登録料収入
	収入計	1,220,500	1,220,500	0	

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考	
支 出	奨学生 生活動費	米山フォーラム・米山の集い	500,000	500,000	0	
		修了証書授与式	200,000	200,000	0	
		オリエンテーション・歓迎会	200,000	200,000	0	
	米山奨学生選考試験費	140,500	140,500	0		
	予備費	180,000	180,000	0		
	支出計	1,220,500	1,220,500	0		

2023-24年度 委員会活動予算書

項目	内 訳	2023-24 築館(A)	2022-23 田中(B)	増減 (A)-(B)	備 考
クラブ奉仕部門	会員増強委員会	300,000	300,000	0	
	公共イメージ向上委員会	1,100,000	1,100,000	0	
社会奉仕・職業奉仕部門	社会奉仕・職業奉仕委員会	400,000	400,000	0	
国際奉仕部門	国際奉仕委員会	300,000	300,000	0	
ロータリー財団部門	ロータリー財団委員会	500,000	500,000	0	
	地区補助金委員会			0	
	グローバル補助金委員会			0	
	資金推進委員会			0	
	奨学金・学友委員会			0	
	ポリオプラス委員会	250,000	250,000	0	ポリオ対策費
青少年奉仕部門	青少年交換委員会 (ローテックス関連含む)	800,000	800,000	0	日本青少年交換研究会などへの参加費補助を含む
	インターアクト委員会	400,000	400,000	0	
	ローターアクト委員会	500,000	500,000	0	
	R Y L A	600,000	600,000	0	
R 米山記念奨学部	R 米山記念奨学委員会	400,000	400,000	0	
収 入 計		5,550,000	5,550,000	0	

2023-24年度 送金カレンダー

区分	送金項目	年額/1人	送金額	摘要	納入期限	送金先	送金報告先
国際ロータリー関係	人頭分担金 (10名未満も実人数分)	\$75	\$37.5×会員数	2023年7/1現在会員数	2023.7/31 上期	三井住友銀行新宿通支店 普通預金 NO.6733244 国際ロータリー日本事務局	【寄付送金明細書にて】 国際ロータリー 日本事務局 FAX: 03-5439-0405 ※メールが望ましい E-mail: kifurotary.org
	比列人頭分担金		半期人頭分担金÷6×在籍月数	2024年1/1現在会員数	2024.1/31 下期		
	RI規定審議会分担金	\$1	半期人頭分担金÷6×在籍月数	2023.7/1~12/1入会の会員数	2023.1/31		
	[Rotary] 誌購読料 (RI機関雑誌)	\$24	\$12×購読部数	2024.1/1~6/1入会の会員数	2024.7/31		
	個人寄付・法人寄付・クラブの寄付・地区の寄付(税制上の優遇措置対象)		\$12×購読部数	2023.7/1現在会員数	2023.7/31 上期		
	寄付金分類	メジャー・ドナー /アーチ・クラブ ソサエティ	ベネファクター	標準クラブ定款第15条を参照	2024.1/31 下期		
	年次基金-シエア	○	×	財団の友会員/ マルチ・ホル・ハウス・フィロ-/ ポル・ハウス・ソサエティ 会員 クラブ			
	恒久基金-シエア	○	○	○			
	ポリオプラス	○	×	○			
	グローバル補助金(GG)	○	×	○			
冠名基金(E)	○	○	×				
年次基金使途指定寄付	○	×	○				
恒久基金使途指定寄付	○	○	×				
冠名指定寄付(T)	○	×	×				
その他	—	—	—				
R友関係	ロータリーの友 購読料	¥3,300	¥1,650×購読部数	途中入会は月割 ¥275	2023.7/31 上期	三井住友銀行浜松町支店 普通預金 NO.7450015 一般社団法人ロータリーの友事務所 FAX: 03-3436-5956	申込先: 一般社団法人ロータリーの友事務所 FAX: 03-3436-5956
	ロータリーソング・CD		¥1,650×購読部数		2024.1/31 下期		
R米山記念奨学会	普通寄付 (会員数分をクラブで送金)	¥3,000以上	CDの種類によりです。 ¥1,500以上×会員数 ¥1,500以上×会員数	¥500単位で増額が可能	注文次第 2023.7/31 上期	三井住友銀行京橋支店 普通預金 NO.0920373 (公財)ロータリー米山記念奨学会 念奨学会 E-mail: mail@rotary-yoneyama.or.jp	【普通寄付送金明細書】 【特別寄付送金明細書】 (公財)ロータリー米山記念奨学会 FAX: 03-3578-8281 E-mail: mail@rotary-yoneyama.or.jp
	特別寄付(ロータリアン、ロータリークラブ以外の個人、法人、団体からも受け付けます)	任意(税制上の優遇措置対象)	準米山功労者 米山功労者 準米山功労法人 米山功労法人 米山特別功労法人	累計3万円以上 累計10万円毎 累計5万以上50万円未満 累計50万以上100万円未満 累計100万円以上	2024.1/31 下期		
	地区資金	¥25,000	¥12,500×会員数 ¥12,500×会員数	2023年7/1現在会員数 2024年1/1現在会員数	2023.7/31 上期 2024.1/31 下期		
	ガバナー会運営協力金	¥200	¥100×会員数 ¥100×会員数	2023年7/1現在会員数 2024年1/1現在会員数	2023.7/31 上期 2024.1/31 下期		
	ロータリー文庫運営協力金	¥200	¥100×会員数 ¥100×会員数	2023年7/1現在会員数 2024年1/1現在会員数	2023.7/31 上期 2024.1/31 下期		
地区関係	RI JYEM 維持協力金	¥200	¥100×会員数	2023年7/1現在会員数	2023.7/31 上期	青森銀行本店 普通預金 NO.3118385 RI第2830地区資金 地区会計長 村館 珠樹 FAX: 017-732-2831 E-mail: ri42830outlook.jp	地区事務所 FAX: 017-732-2831 E-mail: ri42830outlook.jp
	地区大会協力金	¥2,000	¥2,000×会員数	2023年7/1現在会員数	2023.7/31 上期		
	米山梅吉記念館協力金	¥100	¥100×会員数	2023年7/1現在会員数	2024.1/31 下期		
	例会時の献金		2024年1/1現在会員数	2023.7/31 上期 2024.1/31 下期			
	国際平和資金		2024年1/1~12/31 2024.1/1~6/30	青森銀行本店 普通預金 NO.3118372 RI第2830地区国際平和資金 地区会計長 村館 珠樹			

2023-24年度 報告カレンダー

No.	報告事例	報告期限	報告先	備考
1	会員数及び出席報告	翌月15日必着	地区事務所	月例報告書をE-mail 又はFAXで提出
2	クラブ計画及び目標の要約	7月1日まで	RI日本事務局	My Rotary 「クラブセントラル」 に入力
3	クラブ活動計画書	公式訪問の2週間前	地区事務所へ3部 送付 〔ガバナー 担当ガバナー補佐 地区事務所〕	郵送にて提出
4	次年度クラブ会長・幹事報告 (公式名簿記載資料)	2月1日まで	RI日本事務局	My Rotary入力
5	国際大会信任状証明書及び投票代 議員カード	4月	地区事務所	用紙はRIよりメール にて直接クラブに 配信
6	地区大会・選挙人証明	ガバナーより通知 する期日	地区事務所	《参考》 RI細則第15条
7	入会、退会届	その都度	RI世界本部	My Rotary入力
8	入会、物故届 (月信用)	翌月10日まで	地区事務所	月信掲載報告書に 写真を添えE-mail 又はFAXで提出
9	①クラブ会長、幹事、職業分類、 例会場、日時	その都度	RI日本事務局 地区事務所 ロータリーの友 事務所	用紙の指定のない ものは任意の様式で 提出
	②所在地域、クラブ名称の改正			
	③ローターアクト、インターアクト 関係			
	④クラブに関するその他の報告			

ロータリー関係事務所一覧

◇国際ロータリー世界本部

Rotary International World Headquarters	One Rotary Center, 1560 Sherman Ave. Evanston, Illinois 60201-3698, U. S. A. 電話：1 (アメリカの国番号) -847-866-3000 FAX：1-847-328-8554 ※ご契約の電話会社によりまして、識別番号が必要な場合がございます のでご注意ください。
--	---

◇国際ロータリー日本事務局

住所・FAX	〒108-0073 東京都港区三田1丁目4-28 三田国際ビル24F FAX (共通) : 03-5439-0405
クラブ・地区支援室	電話：03-5439-5800 (定款・細則、クラブ・地区運営、My ROTARYアカウント登録)
財団室	電話：03-5439-5805 (財団への寄付、認証、補助金)
経理室	電話：03-5439-5803 (人頭分担金・寄付の入金処理)
業務推進・IT室	電話：03-5439-5802 (認証品発送、電子資料案内、システム関連)

ガバナー会事務局	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3433-6497 FAX：03-3433-7395 E-mail:govkai@orange.ocn.ne.jp
----------	--

RIJYEM事務所 (一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換 多地区合同機構)	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-6431-8106 FAX：03-6431-8107 E-mail:rijyem@air.ocn.ne.jp
---	---

ロータリー文庫	〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-16 第3小森谷ビル別館6F 電話：03-3433-6456 FAX：03-3459-7506
---------	--

一般社団法人 ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4F 電話：03-3436-6651 FAX：03-3436-5956
----------------------	--

公益財団法人ロータリー 米山記念奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
------------------------	--

公益財団法人米山梅吉記念館	〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1 電話：055-986-2946 FAX：055-989-5101
---------------	---

国際ロータリー第2830地区 地区事務所	〒030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森内 電話：017-732-2830 FAX：017-732-2831 E-mail:rid2830@outlook.jp URL: https://www.rid2830.org
-------------------------	---

2023-24年度 地区内クラブ一覧表

分 区	クラブ名	会長名	幹事名	〒 クラブ住所	TEL / FAX		〒 例会場住所	TEL FAX		例会曜日	例会時間
					E-mail						
東 第 1 グル	む つ	藤野 芳孝	工藤 直克	035-0063 むつ市若松町15-45 田名部商業協同組合内	0175-22-2663 / 0175-22-2663 tanashou@jeans.ocn.ne.jp		035-0021 むつ市田名部下道4 むつブランドホテル	0175-22-2331 0175-22-2332	火曜日 (第2水曜日)	12:30	
	野 辺 地	亀田 俊彦	熊谷 一成	039-3171 上北郡野辺地町字下御手洗瀬23-1 港湾自動車工業協内	0175-64-0123 / 0175-64-4500 kowan@b.lue.ocn.ne.jp		039-3131 上北郡野辺地町字野辺地17-1 ウロコマル野坂屋 蔵 (KURA)	0175-64-2512 0175-64-5255	火曜日	12:30	
	七 戸	千葉 和夫	松本 洋子	039-2525 上北郡七戸町字七戸123-20 七戸商店会協同組合内	0176-62-2075 / 0176-62-5101 emacard@ia2.itkeeper.ne.jp		039-2525 上北郡七戸町字七戸123-20 七戸商店会協同組合2階	0176-62-2075 0176-62-5101	木曜日	12:30	
	東 北	岡山 武彦	蛇沢 達彦	039-2664 上北郡東北町乙供58 (兼青森原燃テクノロジセンター内)	0175-63-4680 / 0175-63-4681 Tohoku_rc2830@gmail.com		039-2664 上北郡東北町字乙供58 (兼青森原燃テクノロジセンター内)	0175-63-4680 0175-63-4681	月曜日	12:30	
	む つ 中 央	東海林 優	久保田則夫	035-0063 むつ市若松町15-45 田名部商業協同組合内	0175-22-2663 / 0175-22-2663 tanashou@jeans.ocn.ne.jp		035-0035 むつ市本町2-7 はねやホテル	0175-22-8445 0175-22-4155	水曜日 (第4水曜日)	12:30 18:30	
	六 ケ 所	佐藤 進哉	米内山義明	039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内3337 スバハウスろっかぽっか内	0175-69-1126 / 0175-69-1131 rokkasho_rc@yahoo.co.jp		039-3213 上北郡六ヶ所村大字鷹架字内子内3337 スバハウスろっかぽっか内	0175-69-1126 0175-69-1131	木曜日	12:00	
	三 沢	石岡 通秀	石岡 通秀	033-0011 三沢市幸町1丁目11-20	0176-57-1222 / 0176-57-5733 mi.sawar@2830@cocoa.ocn.ne.jp		033-0123 三沢市堀口17-128 ざざん三沢	0176-54-3111 0176-54-3114	火曜日	12:30	
	十 和 田	佐々木和典	中渡 俊明	034-0034 十和田市東十五番町11-3-2 (有アート印刷内) 太田 薫	0176-22-8610 / 0176-22-4822 artprint@novie.ocn.ne.jp		034-0031 十和田市東三番町37-7 サン・ロイヤルとわだ	0176-23-2266 0176-23-2627	火曜日	12:30	
	十 和 田 東	白濱 道義	照井 伸良	034-0087 十和田市西十五番町1-4	0176-23-4028 / 0176-51-3212 kakimoto@jomon.ne.jp		034-0031 十和田市東三番町37-7 サン・ロイヤルとわだ	0176-23-2266 0176-23-2627	木曜日	12:30	
	お い ら せ	川村 重光	杉山 茂夫	039-2135 上北郡おいらせ町立蛇76-1 南部商工協内	0178-56-2326 / 0178-56-2536 nanbushoukou@tea.ocn.ne.jp		039-2151 上北郡おいらせ町向山5丁目3331 レストラン カフヨロインロッヂ	0178-56-3981	水曜日	12:30	
三 沢 東	蛭名佐知子	伊東 隆	033-0011 三沢市幸町1丁目11-20	0176-57-1222 / 0176-57-5733 mi.sawar@2830@cocoa.ocn.ne.jp		033-0123 三沢市堀口17-128 ざざん三沢	0176-54-3111 0176-54-3114	木曜日	12:30		
十 和 田 八 甲	平野 治彦	太田 格道	034-0082 十和田市西二番町4-11 十和田商工会議所内	0176-24-1111 / 0176-24-1563 watarit@towada.or.jp		034-0031 十和田市東三番町3-16 十和田シティホテル	0176-23-2266 0176-23-2627	水曜日 (第1)	12:00		
五 所 川 原	敦賀 敏正	角田 浩志	037-0015 五所川原市大字姥港字船橋238-3	0173-35-9038 / 0173-34-3495 sumoguri-harley@circus.ocn.ne.jp		037-0053 五所川原市字布屋町25番地 ホテルサンルート五所川原	0173-34-8811 0173-34-8816	水曜日	12:30		
金 木	野呂 賢一	荒閑 利康	037-0202 五所川原市金木町玉水180-7 (有又一荒閑商店内)	090-3367-1126 / 0173-52-5339 mataichi@honey.ocn.ne.jp		037-0202 五所川原市金木町朝日山468-1 奴寿し	0173-52-2039 0173-53-3505	火曜日	18:30		
鯨 ケ 沢	加藤 俊三	神 郁子	038-2701 西津軽郡鯨ヶ沢町北浮田町字今須87-1	0173-72-7111 / 0173-72-7058 morio3678@gmail.com		038-2761 西津軽郡鯨ヶ沢町舞戸町字下雷田26-1 水軍の宿	0173-72-6511	木曜日	18:00		
鶴 田	小関 優	伊藤 昇	037-0004 五所川原市大字唐苧柳字藤巻522-9 (兼サカモト住建内)	0173-38-3393 / 0173-34-6776 sakamoto-j@tulip.ocn.ne.jp		038-3503 北津軽郡鶴田町大字鶴田字早瀬200-1 鶴田町国際交流会館		月曜日 (第1・2・4)	12:00		
五 所 川 原 中	菊池 宏	木村 重孔	037-0033 五所川原市鎌台町510-16 こども園かまや内	0173-35-1181 / 0173-35-1181 kamaya.n.s@sirius.ocn.ne.jp		037-0053 五所川原市布屋町25番地 ホテルサンルート五所川原	0173-34-8811 0173-34-8816	木曜日	18:30		
つ が る	佐藤 眞治	米谷 之宏	038-2816 つがる市森田町森田月見野119-12	090-3127-1745 / 0173-26-2156 wmyqf296@yahoo.co.jp		038-2811 つがる市森田町上相野若緑61 つがる市商工会2階	0173-42-7575	火曜日	12:30		
五 所 川 原 イヴニング	佐々木一仁	赤城麻依子	037-0041 五所川原市田町121-1 (兼プラス内)	0173-26-7071 / 0173-26-7072 akagi-m@plus-agc.com		037-0053 五所川原市布屋町25番地 ホテルサンルート五所川原	0173-34-8811 0173-34-8816	木曜日 (第2・4)	16:30		

分 区	ク ラ ブ 名	会 長 名	幹 事 名	〒 ク ラ ブ 住 所	T E L / F A X		〒 例 会 場 住 所	T E L / F A X		例 会 日	例 会 時 間
					E-mail						
西 第 2 ブ ル	弘 前	浜谷 和生	鈴木 直子	036-8032 弘前市徳田町29-3 S.K.K.リカレントスクールの3階	0172-33-7678 / 0172-33-5250 hirosaki.godorc@onyx.ocn.ne.jp		036-8045 弘前市野田1丁目4-1 RAGLEY (ラグリー)	0172-36-2277		月曜日	12:30 (月1回)18:30
	弘 前 東	朝倉 和広	旅澤 雅士	036-8032 弘前市徳田町29-3 S.K.K.リカレントスクールの3階	0172-33-7678 / 0172-33-5250 hirosaki.godorc@onyx.ocn.ne.jp		036-8004 弘前市大町1-1-2 アートホテル弘前シティ	0172-37-0700		水曜日 (月3回)	12:30 (月2回)18:00
	板 柳	工藤 昭義	齋藤直飛人	038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字表田45-17 三和設備内	0172-73-2320 / 0172-73-3922 sanwa.cat@kyp.biglobe.ne.jp		038-3661 北津軽郡板柳町大字福野田字表田30-7 板柳商工会館2階	0172-73-3254 0172-73-3652		火曜日	12:30
	黒 石	工藤 孝洋	高木 雄平	036-0307 黒石市市町5-2 黒石商工会議所内	0172-52-4316 / 0172-52-9997 msato@k-cci.or.jp		036-0304 黒石市甲徳兵衛町36 赤提灯2階	0172-52-7336		木曜日	(第1-4)12:00 (第2)18:30
	大 鰐	佐藤 和治	椋方 昇幸	038-0212 南津軽郡大鰐町大字蔵館字湯ノ沢4-3 (有)大鰐振興内	0172-47-9040 / 0172-48-2890 onani-rc@katayamagumi.jp		038-0211 南津軽郡大鰐町大字大鰐59-3 山忠会館	0172-48-5038 0172-47-5144		火曜日	12:30
	弘 前 西	菊池 孝顕	長谷川正之	036-8036 弘前市鉄砲町1-1	0172-32-7731 / 0172-32-7732 hirosaki.iwest@gmail.com		036-8016 弘前市坂本町1 創作郷土料理の店 菊富士本店	0172-36-3300 0172-36-3319		火曜日	(第1)12:30 (その他)18:30
	平賀・尾上	今 俊一	齋藤 憲法	036-0111 平川市小和森上平田1-5 (株)メンテック・ヒロ内	0172-44-1456 / 0172-44-1457		036-0114 平川市町居南田166-3 南田温泉ホテルアップルランド	0172-44-3711 0172-44-3771		火曜日	(第2-4) 18:30
	弘 ア ッ プ ル	瀬谷 明広	成田 亨	036-8086 弘前市田園1-12-1 laネットワーク株内	0172-27-1333 / 0172-27-1245 junkom.lura55@gmail.com		036-8086 弘前市田園1-12-1 laネットワーク株内	0172-27-1333 0172-27-1245		月曜日	19:00
	青 森	田中 正子	伊藤 幸生	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821 / 017-777-9691 aomori.rc@jomon.ne.jp		030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		木曜日	12:30
	青 森 北 東	蝦名 正治	佐藤 歩	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821 / 017-777-9691 ensc@trust.ocn.ne.jp		030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		隔週 水曜日	12:30
	青 森 中 央	三浦 和枝	岡崎 勝弘	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821 / 017-777-9691 ensc@trust.ocn.ne.jp		030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		隔週 月曜日	12:30
	青 モ ー ニ ン グ	藤井 健一	木村 裕	030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森2階	017-775-1821 / 017-777-9691 webmaster@aomori-mrc.org		030-0812 青森市堤町1-1-23 ホテル青森	017-775-4141 017-773-5201		隔週 火曜日	8:00
八 戸	紺野 広	松本 剛典	031-0031 八戸市番町14 八戸グランドホテル内	0178-43-0608 / 0178-43-0661 rc8@vc.hi-net.ne.jp		031-0031 八戸市番町14 八戸グランドホテル	0178-46-1234 0178-46-1249		水曜日	12:30	
八 戸 東	林 克己	赤坂 貴博	031-0031 八戸市番町14 八戸グランドホテル内	0178-43-0608 / 0178-43-0661 rc8@vc.hi-net.ne.jp		031-0031 八戸市番町14 八戸グランドホテル	0178-46-1234 0178-46-1249		金曜日	12:30	
三 戸	大野 誠	坂本 勝彦	039-0144 三戸郡三戸町大字六日町16-1	090-4630-9265 / 0179-22-0163		039-0131 三戸郡三戸町大字二日町102-1 田沼本店2階	0179-23-3231 0179-22-3231		水曜日	12:30	
五 戸	江渡 惠一	中里 政廣	039-1516 三戸郡五戸町字市川道十文字3-2 めぐみ保育園内	0178-62-3224 / 0178-62-7604 a2091010@hi-net.ne.jp		039-1548 三戸郡五戸町字新町34-3	0178-62-2011		水曜日 (月3回)	12:30	
南 部	工藤 正孝	松本 保築	039-0802 三戸郡南部町大字吉米地字下宿23-1 ジャックドオフェイス202号室 南部町商工会内	0178-38-1159 / 0178-38-1163 k-mukai@aomori.shokoren.or.jp		039-0802 三戸郡南部町大字吉米地字下宿23-1 ジャックドオフェイス202号室 南部町商工会内	0178-38-1159 0178-38-1163		火曜日	12:30	
八 戸 北	小林 弘文	平野 薫	031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸ブラザホテル内	0178-44-3121 / 0178-44-3128 s2830n@ae.auone-net.jp		031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸ブラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128		火曜日	12:30	
八 戸 南	大橋 央雅	伊藤 芳	031-0003 八戸市吹上1丁目15-90 八戸パークホテル内	080-6003-5034 / 0178-46-0037 hsrclub-2830@cd.hi-net.ne.jp		031-0003 八戸市吹上1丁目15-90 八戸パークホテル	0178-43-1111 0178-43-0264		木曜日	12:30	
八 戸 中 央	工藤 亮夫	築田 直子	031-0081 八戸市柏崎一丁目6-6 八戸ブラザホテル内	0178-44-3121 / 0178-44-3128 s2830c@gmail.com		031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸ブラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128		月曜日	(第1-3)12:30 (第2)18:30	
八 戸 西	畠山 徳陽	村岡 徹弥	031-0072 八戸市城下4丁目9番5号 (株)STARS内	0178-51-8642 / 0178-51-8643 hwrc@stars.aomori.jp		031-0081 八戸市柏崎1丁目6-6 八戸ブラザホテル	0178-44-3121 0178-44-3128		木曜日	(第1-3)12:30 (第2)18:30	

2023-24年度 地区事務所組織表

役 職	氏 名	所属クラブ
地 区 ガ バ ナ ー	築 舘 智 大	八 戸
顧問・パストガバナー	村 井 達	八 戸
地 区 財 務 長	小 林 幹 夫	八 戸

地区事務所スタッフ

幹 事 長	総務、企画、諮問委員会担当	石 橋 信 雄	八 戸
副 幹 事 長	地区大会実行委員長、公共イメージ担当	妻 神 和 憲	八 戸
副 幹 事 長	DTTS・PETS実行委員長	鶴 飼 寿 栄	八 戸
副 幹 事 長	地区研修・協議会実行委員長	小井田 和 哉	八 戸
会 計 長		村 舘 珠 樹	八 戸
幹 事	公式訪問・各種事業担当	佐々木 泰 宏	八 戸
	地区大会・クラブ会長	紺 野 広	八 戸
	地区大会・クラブ幹事	松 本 剛 典	八 戸
	DTTS・PETS副実行委員長・各種事業	道 尻 誠 助	八 戸
	地区研修・協議会副実行委員長	深 澤 隆	八 戸
	地区大会副実行委員長・世界大会推進担当	夏 堀 礼 二	八 戸
	月信担当・各種事業	中 村 稔 彦	八 戸
	公共イメージ担当・各種事業	渡 辺 孝	八 戸
専 属 事 務 局 員		浅 利 育 子	



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第2830地区 地区規定

地区資金規定	34
地区運営資金要綱	36
会合旅費等負担一覧表	37
国際平和資金規定	40
地区表彰実施要綱	41
ロータリー賞の目標と達成方法に関する説明 (ロータリークラブ)	43
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (ローターアクトクラブ)	45
ロータリー賞の目標と達成のワークシート (インターアクトクラブ)	47
ガバナー指名委員会及び諮問委員会	49
地区危機管理委員会規定	50



国際ロータリー第2830地区 地区資金規定

第1条 (総則)

国際ロータリー第2830地区の地区資金は本規定に基づいて管理運営する。

第2条 (会計年度)

地区資金の会計年度は7月1日から翌年6月30日までとする。

第3条 (地区財務委員)

地区ガバナーは地区資金運営のため、地区財務委員を任命する。地区財務委員は3名とし、その任期はそれぞれ3年、2年、1年とする。委員は委員会を構成し、2年委員が委員長となる。

第4条 (地区財務委員会の任務)

- (1) 地区財務委員会はガバナーが地区管理に必要な経費を調査研究し各クラブに負担要請の額を決定する。
- (2) 各クラブの負担額の決定及び変更は、地区研修・協議会、地区大会又はクラブ会長エレクト研修セミナーに出席した次期又は現会長の4分の3以上の承認を必要とする。
- (3) 委員会は、ガバナーの命に基づき、前項により決定された負担額の納入状況を管理する。
- (4) 委員長は、当該年度が終了したあと地区資金決算書を作成し、直前ガバナーに提出し、その結果を各クラブに報告する。

第5条 (地区会計長)

ガバナーは地区資金の保管出納のため、地区会計長を任命する。

地区会計長は本規定に定められた資金の他、地区で扱う資金すべての保管出納の任に当たる。

地区会計長は毎年末、地区財務委員会に支払明細書を提出する。

第6条 (地区資金の払込)

- (1) 地区財務委員長は決定された各クラブ負担額を各期首会員数並びに振込口座を明示して請求する。各クラブの負担額については
イ. 各クラブの負担額は会員1人当たり半期ごとに1万2千5百円を乗じた金額とする。
但し、衛星クラブの負担額は会員1人当

り半期ごとに6千2百50円を乗じた金額とする。

ロ. 地区はイ. に拘わらず、各クラブから申請があった場合には、会員1人当たりの負担額を当該会員についてそれぞれに記載する金額とすることができる。

1. 配偶者会員：会員の配偶者を会員とするときは半期ごとに2千5百円
2. 後継者会員：会員の事業後継者を会員にするときは半期ごとに5千円

ハ. 各クラブは地区に上記（配偶者会員・後継者会員）の適用を求めるときは別紙様式によりグループを担当するガバナー補佐を通じて申請することとする。

ニ. 地区は諮問委員会に当該申請について報告するものとする。

- (2) 各クラブは毎年7月1日及び1月1日現在の会員数（名誉会員を除く）により請求された負担額をその月中に財務委員長の指定する口座に振込まなければならない。会員数はR Iに報告された員数と合致しなければならない。
- (3) 新設クラブはR I承認の翌月から月割で負担する。

第7条 (地区資金の支出と収支報告)

- (1) 地区資金の支出は地区各委員長の活動計画表に基づき地区委員長の請求書（後日領収書提出）又は領収書の提出により、地区会計長がガバナーの決裁を経て、その都度支払うものとする。
- (2) 資金の交付を受けて活動する場合は、年度終了後2ヶ月以内に、その活動項目と収支の明細を、ガバナーに報告しなければならない。
- (3) 上記は地区資金の他、国際平和資金等の資金すべてに適用する。
- (4) その他、活動計画外の資金は予めガバナーの承認を得た上で支出する。

第8条 (地区資金の使途)

地区資金は次の費用に使用する。

- (1) 地区運営資金
- (2) 青少年奉仕活動資金
- (3) その他ガバナーが必要と認め諮問委員会の承

認を得た資金

第9条 (地区運営資金)

地区運営資金は次の各号に要する費用とし、その額は地区運営資金要綱に定める。

- (1) 地区研修・協議会
ホストクラブに対する補助
- (2) 地区大会
ホストクラブに対する補助
- (3) インターシティ・ミーティング (I M)
ホストクラブに対する補助
- (4) ガバナーエレクト壮行会
- (5) クラブ会長エレクト研修セミナー (P E T S)
ホストクラブに対する補助
- (6) ガバナー補佐活動助成金
- (7) ガバナーエレクト活動助成金
- (8) ガバナーエレクト国際協議会参加への助成
- (9) ガバナー離任時に贈る記念品代
- (10) 地区拡大助成金
- (11) 国際大会地区代表出席者参加への助成金
- (12) ガバナー関連活動費
(公式訪問に対する助成、前年度承認されたクラブの認証伝達式に出席する直前ガバナー交通費、宿泊費を含む。)
- (13) 規定審議会代議員への参加費助成金
- (14) 地区チーム研修セミナー (D T T S) に対する補助
- (15) 地区研修委員会に対する補助
- (16) ガバナーエレクト研修セミナー (G E T S) 参加に対する補助
- (17) 国際ロータリー諸事業参加助成金
- (18) ガバナーノミニー助成金
- (19) 表彰費
別に定める地区表彰実施要綱による。
(但し、状況により支出しないことがある。)
- (20) その他、地区内外の会合に出席する者に対する交通費・宿泊費のうち諮問委員会の承認を得て行う補助 (但し、地区資金状況により支出しない事もある。会場所在市町村在住者には支出しない。)

第10条 (本規定の改廃)

本規定の設定改廃は地区研修・協議会、又は地区大会において出席した次期又は現会長の4分の3以上の賛成を得て行う。

第11条 (本規定の施行時期)

- (1) 本規定は2008年7月1日より施行する。
- (2) 本規定は2012年7月1日より改定施行する。
- (3) 本規定は2013年7月1日より改定施行する。
- (4) 本規定は2014年7月1日より改定施行する。
- (5) 本規定は2014年10月4日より改定施行する。
- (6) 本規定は2015年7月1日より改定施行する。
- (7) 本規定は2018年7月1日より改定施行する。
- (8) 本規定は2020年7月1日より改定施行する。
- (9) 本規定は2021年1月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 地区運営資金要綱

(1) 規定第9条の地区運営資金の額は、次のとおりとする。

(1)	地区研修・協議会	40万円以内
(2)	地区大会	30万円以内
(3)	インターシティ・ミーティング	1グループ 10万円以内
(4)	ガバナーエレクト壮行会	40万円以内
(5)	クラブ会長エレクト研修セミナー (P E T S)	40万円以内
(6)	ガバナー補佐活動助成金	1グループ所属クラブ数×25,000円
(7)	ガバナーエレクト活動助成金	40万円以内
(8)	ガバナーエレクト国際協議会参加助成金	30万円以内
(9)	ガバナー離任時の記念品代	10万円以内
(10)	新設クラブ助成金	10万円以内
(11)	国際大会地区代表出席者参加助成金	30万円以内
(12)	ガバナー活動費	200万円以内
(13)	規定審議会代議員旅費助成準備金	10万円以内
(14)	地区チーム研修セミナー (D T T S)	40万円以内
(15)	地区研修委員会	20万円以内
(16)	ガバナーエレクト研修セミナー (G E T S)	20万円以内
(17)	国際ロータリー諸事業参加助成金	200万円以内
(18)	ガバナーノミニー助成金	10万円以内

(2) 交通費、宿泊費は次の通りとする。

- A. 交通費 JR・私鉄・バスを利用した最短・最速の普通料金（割引運賃がある場合はそれを適用）にて支給する。
近距離や公共交通機関がない場合は別途定める。
- B. 宿泊費 実費料金での支給とし、地区外は一泊12,000円、地区内一泊10,000円を上限とする。

(3) 本要綱の改廃は、地区資金規定第10条を準用する。

(4) 本要綱は2008年7月1日より施行する。

- 2012年7月1日より改定施行する。
- 2013年7月1日より改定施行する。
- 2014年7月1日より改定施行する。
- 2015年7月1日より改定施行する。
- 2018年7月1日より改定施行する。
- 2020年7月1日より改定施行する。
- 2022年7月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 会合旅費等負担一覧表

1. 地区大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
R I 会長代理夫妻	R I	大会	大会	地区内 P G、G E、G N、A G、地区委員は一般会員と同様に各自の負担とする。
G 夫妻	地区	地区	大会	
ガバナー地区事務所関係者	地区	地区	大会	
ゲスト	大会	大会		
他地区 G、P G、G E	本人	本人	本人・大会	
姉妹地区 G、直前 G、G E	本人	大会	大会	
来日交換学生	ス C	ス C	大会	
派遣交換学生	本人	本人	大会	
R O T E X	本人	本人	大会	
R 財団学生	ス C	ス C	大会	
R 財団学友	本人	本人	大会	
R 米山奨学生	ス C	ス C	大会	
R 米山学友	本人	本人	大会	
インターアクター	ス C	ス C	大会	
ローターアクター	ス C	ス C	大会	

2. 地区研修・協議会〈クラブ・リーダーシップ研修セミナー〉

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	協	
G E、G N、P G、次期 A G	協	協	協	
G、G E 地区事務所関係者	地区	地区	地区	
アドバイザー、リーダー、サブリーダー、研修リーダー	協	協	協	
次期地区委員	C	C	C	
ゲスト	協	協		

3. クラブ会長エレクト研修セミナー (P E T S)

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	P E T S	
G E、地区研修リーダー、G N、P G、次期 A G	地区	地区	P E T S	
リーダー、サブリーダー	P E T S	P E T S	P E T S	
G、G E 地区事務所関係者	P E T S	P E T S	P E T S	

4. I M

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区		I M	
G E、G N	本人		I M	
G 地区事務所関係者	地区		地区	
G E 地区事務所関係者	地区		地区	

5. 地区委員会

	交通費	宿泊費	備 考
G	地区	地区	宿泊は原則として無 必要と認められる時は 地区
担当PG、GE、GN、AG	地区	地区	
ガバナー地区事務所関係者	地区	地区	
関係地区委員長及び委員	地区委員会予算	地区委員会予算	

6. インターアクト・ローターアクトの指導者講習会、年次大会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	地区	地区	地区	
担当PG、GE、GN、AG	地区委員会予算	地区委員会予算	地区委員会予算	
G地区事務所関係者	地区	地区	地区	
関係地区委員長及び委員	地区委員会予算	地区委員会予算	地区委員会予算	

7. ガバナーエレクト壮行会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G夫妻	地区	地区	壮行会	
GE夫妻	地区	地区	壮行会	
PG、GN	本人	本人	本人	
次期AG	本人	本人	本人	
次期地区委員長	本人	本人	本人	
次期クラブ会長及び幹事	本人	本人	C	
G地区事務所関係者			地区	
GE地区事務所関係者	地区	地区	地区	

8. 地区研修委員会

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	本人	本人		
GE、地区研修リーダー	地区	地区		
次期AG	地区	地区		
GE地区事務所関係者	地区	地区		

9. 地区チーム研修セミナー

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
G	本人	本人		原則として宿泊は無 必要と認められた時は地 区
GE、地区研修リーダー、 担当PG	地区	地区		
次期AG、次期地区委員長	地区	地区		
次期地区委員	地区	地区		
GE地区事務所関係者	地区	地区		

10. 友好地区交流事業

	交通費	宿泊費	登録料	備 考
当地区関係者	本人	本人	本人	
友好地区関係者	本人	本人	交流会	

11. 地区指導者育成セミナー

地区大会に付随して開催されるので、交通費その他は地区大会規定に基づくものとする。

【附則】

1. 前各項の会合と同日に諮問委員会が開かれる場合は、諮問委員会出席義務者の旅費は地区で支払う。会合側では支払わない。

※ガバナー地区事務所関係者やガバナーエレクト地区事務所関係者が、諮問委員会へ出席を要請されて出席した場合には、上記に準じて旅費を支払う。

2. 前各項において出席者が地元（同一グループ）の場合には交通費、宿泊費を支給しない。

3. (地区外会合旅費等負担に関する件)

ゾーン・全国規模のセミナー等の場合、出席義務のある委員長・PG（ゾーン・全国の役員含む）及びその代理者の旅費等はガバナーの指名した範囲で地区負担とする。

4. (副ガバナーのガバナー代行に関する件)

副ガバナーがガバナーの代理として地区内の会合に出席する場合、旅費等の負担はガバナーの欄を適用する。

※地区会合旅費等負担に関する規定の改定は地区資金規定第10条を準用する。

- ◎ RI：国際ロータリー、G：ガバナー、PG：パストガバナー、GE：ガバナーエレクト、GN：ガバナーノミニエ、C：クラブ、SC：スポンサークラブ、AG：ガバナー補佐、ROTEX：元青少年交換学生、
ガバナー地区事務所関係者：地区幹事長・地区財務委員長・地区会計長・地区事務所事務局員
ガバナーエレクト地区事務所関係者：次期地区幹事長・次期地区財務委員長・次期地区会計長・地区事務所事務局員

○2022年7月1日より改定施行する。

国際ロータリー第2830地区 国際平和資金規定

国際平和資金は下記の事項に支出できるものとする。

1. 世界社会奉仕プロジェクトおよびプロジェクト参加に必要な経費。
2. 世界および日本の災害救援プロジェクト。
3. 世界社会奉仕プログラムの理念^{*}に合致し、諮問委員会の審議を経て承認された国際奉仕部門および青少年奉仕部門のプログラム。

※世界社会奉仕プログラムの理念

世界社会奉仕プログラムは、国際奉仕に属する活動であって、ロータリアンはこのような活動を通じて、人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実施する。そして、物質的、技術的、専門的援助を通じて、国際理解と親善を推進する。

(2010年ロータリー章典41.080)

○本規定は2012年7月1日より有効とする。

地区表彰実施要綱

1. R I、R財団及び地区の行う各種の表彰は、本要綱により地区表彰委員会が選考して実施する。
2. 表彰委員会の構成員はガバナー、直前ガバナー、ガバナーエレクト及び各ガバナー補佐をもって構成する。

《R I 表彰》

イ) クラブの表彰

- ①ロータリー賞（ロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブ）
- ②意義ある奉仕賞
- ③世界インターアクト週間の表彰
- ④世界ローターアクト週間の表彰
- ⑤インターアクト・ビデオ賞
- ⑥卓越したローターアクト・プロジェクト賞

ロ) 個人の表彰

- ①奉仕部門賞（地区による表彰）
- ②奉仕部門賞（R Iによる表彰）
- ③ロータリー財団功労表彰
- ④ロータリー財団特別功労賞
- ⑤ロータリー財団地区奉仕賞
- ⑥超我の奉仕賞
- ⑦ポリオのない世界を目指す奉仕賞
- ⑧ポリオプラス・パイオニア賞

ハ) ロータリアン以外の表彰

- ①ロータリー最優秀学友会賞
- ②ロータリー学友世界奉仕賞
- ③ロータリー人道奉仕功労賞

《地区表彰》

- イ) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン
- ロ) 会員増強優秀クラブ
- ハ) 出席成績優秀クラブ
- ニ) 広報活動優秀ロータリークラブ
- ホ) ロータリー財団寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ヘ) 米山記念奨学会寄付成績優秀クラブ及びロータリアン
- ト) 国際平和資金寄付優秀クラブ
- チ) 長寿ロータリアン
- リ) その他当委員会で適当と認めたもの

3. 表彰基準

《R I 表彰》

R Iの表彰基準による。各クラブへ公示し、ガバナーが判断しR Iに推薦決定、審査される。

《地区表彰》

地区の行う各種表彰は、以下の基準によるものとする。ただし、表彰委員会の判断により、その年度

の個別事由により本基準の主旨に沿った上での変更は認めるが、その際は、その後開催される地区諮問委員会に報告するものとする。

イ) 奉仕活動優秀クラブ及びロータリアン

①クラブ表彰

当年6月末日までにガバナー補佐を通じて、各グループ内から奉仕活動優秀クラブを地区表彰委員会に提出させ審査の上、各部門に於いてそれぞれ最も優れたクラブを決定し表彰する。

②ロータリアン表彰

- ・表彰者の決定は前項に準ずるが、表彰に際しては、表彰状に添えて記念品を贈呈する。
- ・ガバナー補佐又はクラブ会長が表彰を申請するに当たっては文書のみにより優秀性が判定出来るだけの業績を必ず添付するものとする。

③特別表彰をガバナーが実施する。

ロ) 会員増強優秀クラブ

- ・前年度中に於ける会員の純増加数が5名以上又は増加率が10%以上のクラブとし、(同率の場合は同順位とする)表彰する。

ハ) 出席優秀クラブ

①クラブ表彰

- ・プラチナ賞(例会月4回、95%以上)
- ・ゴールド賞(例会月3回以下、95%以上)
- ・シルバー賞(例会月4回、90~95%未満)
- ・ブロンズ賞(例会月3回以下、90~95%未満)

ニ) 広報活動優秀ロータリークラブ

週報の発行や地域社会で広報活動の優秀なクラブを表彰する。

ホ) ロータリー財団寄付優秀クラブ及びロータリアン(新P H F)

①クラブ表彰

- ・直近5年間(設立5年間未満の場合は設立から)の平均を上まわったクラブ(ただし地区目標を上まわったクラブ)

②ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新P H F全員及び大口寄付者等、委員会で認めたものとする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

ヘ) 米山奨学会寄付優秀クラブ及びロータリアン

①クラブ表彰

- ・直近5年間(設立5年間未満の場合は設立から)の平均を上まわったクラブ(ただし地区目標を上まわったクラブ)

②ロータリアン表彰

- ・成績優秀ロータリアンは当該年度の新米山功労者全員とする。
- ・ロータリアンには記念品を贈呈する。

ト) 国際平和資金寄付優秀クラブ

①クラブ表彰

- ・当該年度中の1人当たりの寄付金額(年間の寄付金額を6月末現在の会員数で除した金額)の多いクラブから5位までを優秀クラブとする。

チ) 長寿ロータリアン

- ・当年6月末日までに満80歳及び90歳に達したロータリアンに記念品を贈呈する。

4. 上記各種表彰は、地区大会又は地区研修・協議会等に於いて実施する。

5. 本要綱の設定改廃は、地区表彰委員会が発議し、地区諮問委員会の承認を得るものとする。

2023-24年度 ロータリー賞の目標と 達成方法に関する説明（ロータリークラブ）

ロータリー賞の受賞資格を満たすには、クラブが正規に RI に加盟していることが条件となります。ロータリー賞の受賞資格である「正規に RI に加盟している」とは、RI からのクラブ請求書の金額を遅延なく全額支払ったクラブを意味します。クラブが RI 請求額を遅延なく支払っているかどうかは、My ROTARY の「クラブの運営」>「クラブの財務」の下にあるクラブの未納金残高（毎日更新）レポートでご確認ください。（このレポートで未納金残高が 0 ドルとなっている必要があります）。1 月中旬または 7 月中旬に請求書が閲覧可能となり次第、速やかにお支払ください。

ロータリークラブのリーダーは、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにあるものの目標のうち少なくとも半分の目標を選ぶことができますこのような柔軟性により、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を選ぶことができます。さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

ロータリー賞を達成するには以下を行う必要があります：

- ロータリークラブ・セントラルを開く
 - 目標の内容を確認する
 - その中から少なくとも半分の目標を選択する
 - 選んだ目標を達成する
 - 6月30日までにロータリークラブ・セントラルで達成を報告する
- ロータリークラブ・セントラルを開いたら、「**目標設定・確認センター**」をクリックし、**年度**を選び、「**すべて**」をクリックしてください。

目 標	目 標 の 詳 細
会員増強	ロータリー年度末までに達成したいクラブ会員総数
会員と参加促進	会員とその他の参加者のニーズがクラブ細則に反映されている※
奉仕活動への参加	本ロータリー年度にクラブの奉仕活動に参加する会員の数
新会員の推薦	本ロータリー年度に新会員を推薦する現会員の数
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなっている会員の数
リーダーシップ育成への参加	本ロータリー年度にリーダーシップ養成プログラム／活動に参加する会員の数
地区大会への参加	地区大会に出席する会員の数
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなっている会員の数

※ 「2023-24年度ロータリークラブ年度より新たな目標」となっております。

目 標	目 標 の 詳 細
地区研修への参加	地区で行われる研修／セミナー／協議会などに出席するクラブ委員会委員長の数
年次基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団年次基金への寄付総額
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度のクラブと会員によるロータリー財団ポリオプラス基金への寄付総額
大口寄付	本ロータリー年度に寄せられる一括10,000ドル以上の寄付の件数
遺贈友の会会員	遺産計画を通じてロータリー財団に10,000ドル以上の寄付を誓約することを、初めて本ロータリー年度にロータリー財団に通知する個人・夫婦の数
ベネファクター	遺言またはそのほかの遺産計画に財団恒久基金を指定して寄付することをロータリー財団に通知または恒久基金に1,000ドル以上を寄付して、新たにベネファクターとなる個人・夫婦の数
奉仕プロジェクト	本ロータリー年度にクラブが実施する奉仕プロジェクトの数
ローターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新ローターアクトクラブと既存ローターアクトクラブの数
インターアクトクラブ	本ロータリー年度にクラブがスポンサーする新インターアクトクラブと既存インターアクトクラブの数
来訪する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが受け入れる青少年交換学生の数
派遣する青少年交換学生	本ロータリー年度にバーチャルまたは対面形式でクラブが派遣する青少年交換学生の数
RYLA 参加者	本ロータリー年度に直接対面式またはバーチャル形式でクラブが支援するRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）参加者の数
クラブ戦略計画	クラブにはクラブ独自の戦略計画（長期計画）があるか
インターネット上の存在感	インターネット上にあるクラブの情報は現在の活動を正確に反映しているか
親睦のための活動	本ロータリー年度、例会以外に親睦を目的としてクラブが実施した活動の回数
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度中、クラブのウェブサイトとソーシャルメディアアカウントを月に何回更新するか
クラブのプロジェクトのメディア掲載	本ロータリー年度にクラブのプロジェクトを取り上げるメディア記事の数
ロータリー作成の公式推進用資料の使用	本ロータリー年度に地域社会でロータリーを紹介するために、国際ロータリーから提供される広告と公共奉仕資料（ブランドリソースセンターから入手可能な放送用ビデオ、印刷広告、その他公式資料）使用した回数

2023-24年度 ロータリー賞の目標と達成のワークシート (ローターアクトクラブ)

ロータリー賞 (ローターアクトクラブ) は、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の22の目標のうち、少なくとも12の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指すことができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのPDFをご利用ください。また、推薦フォームを記入する際にも参考としてください。

ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 22の目標の詳細に目を通す
- 少なくとも12の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄に印をつける
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- 年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブまたはローターアクトクラブ会長が、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。フォームの記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、ローターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を_____名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、_____名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループへの参加	本ロータリー年度に少なくとも1つのロータリー行動グループのメンバーとなる会員数を_____名とする。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、_____回のリーダーシップ育成または職業能力開発プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に_____名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動グループへの参加	本ロータリー年度にロータリー親睦活動グループのメンバーとなる会員数を_____名とする。		
地区研修への参加	_____名のクラブ会員が地区の研修行事に出席する。		
ラーニングセンターの利用	_____名のクラブ会員がラーニングセンターにアクセスし、それらの会員が_____のコースを完了する。		

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
年次基金への寄付	ロータリー年次基金にクラブから寄付を行う。また、これらの寄付がローターアクトの寄付の達成証を得る要件を満たしているか確認する。		
ポリオプラス基金のための活動	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、_____件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサークラブと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある地域社会または国際奉仕プロジェクトを実施する。		
ローターアクトクラブの数	本ロータリー年度に_____つのローターアクトクラブをスポンサーする。		
インターアクトクラブ	本ロータリー年度に_____つのインターアクトクラブを共同スポンサーする。		
RYLA への参加	_____名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）の計画に関わる、またはRYLAに参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	ロータリープログラム（RYLA、新世代交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
オンラインでの存在感	クラブのオンラインページは、現在の活動状況を正確に伝えている。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月_____回更新する。		
交流活動	本ロータリー年度、通常の例会以外に_____回の交流行事を開く。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界ローターアクト週間に行ったイベントや活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でローターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。		
クラブの推進	卓越したローターアクトプロジェクト賞にクラブの優れたプロジェクトを応募する。		

2023-24年度 ロータリー賞の目標と達成の ワークシート (インターアクトクラブ)

ロータリー賞 (インターアクトクラブ) は、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、より積極的なかかわりを促し、適応力を高める活動を行うことで、ロータリーの行動計画を支えたクラブを表彰するものです。

以下の20の目標のうち、少なくとも11の目標を選択してください。クラブにとって重要で、達成可能であると思われる目標を選ぶことができます。クラブは全ロータリー年度をかけて、これらの目標を達成し、ロータリー賞の受賞を目指することができます。

目標を設定し、達成への進展を記録する際にこのPDFをご利用ください。スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーがオンラインの推薦フォームを用いてクラブの達成を報告する際にも、このPDFを参照できます。

ロータリー賞の受賞に必要な要件は以下の通りです：

- 20の目標の詳細に目を通す
- クラブのアドバイザーからの指導を受け、11の目標を選ぶ
- 達成したい目標を選び、「目標の設定の欄」に印をつける
- クラブが目標を達成したら、「達成」の欄に印をつける
- スポンサークラブの役員とクラブのアドバイザーが年度を通じてこのワークシートを参照し、クラブによる目標達成の進展を記録する
- スポンサークラブの役員またはインターアクトクラブのアドバイザーと協力し、8月15日までにオンラインの推薦フォームを提出する。書式の記入にあたっては、このワークシートを参照する。

ロータリー賞を受賞するには、インターアクトクラブは国際ロータリーから認定され、6月30日までに地区ガバナーから承認されている必要があります。また、成人のアドバイザーが、6月30日までにアドバイザーの氏名と連絡先情報をロータリーに提出している必要があります。

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
クラブの会員数	ロータリー年度末までにクラブ会員を_____名とする。		
奉仕への参加	本ロータリー年度に、_____名の会員がクラブの奉仕活動に参加する。		
ロータリー行動グループとの関わり	本ロータリー年度中、クラブ会員はロータリー行動グループについてより詳しく学び、奉仕プロジェクトのためのインスピレーションを得る機会を持つ。		
リーダーシップ育成への参加	会員のスキルを伸ばすため、_____回のリーダーシップ育成プログラムを実施する。		
地区大会への参加	地区大会に_____名の会員が出席する。		
ロータリー親睦活動との関わり	本ロータリー年度、クラブ会員はロータリー親睦活動を通じた機会についてより多くを学ぶ。		
地区研修への参加	クラブ会員が地区の研修行事に出席する。		

ロータリー賞のカテゴリー	目標の詳細	目標の設定	達成
ラーニングセンターの利用	2020-21ロータリー年度に、クラブのアドバイザーまたは1名の会員が、ロータリーのラーニングセンターで奉仕について学ぶオンラインコースを修了する。		
年次基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーの年次基金への募金方法や認識向上のための方法を考え、実行する。		
ポリオプラス基金への寄付	本ロータリー年度中、ロータリーのポリオ根絶活動のための募金または認識向上のために、__件の活動を行う。		
奉仕プロジェクト	スポンサーロータリークラブまたはアドバイザーと協力し、6つの重点分野のいずれかにおいて、意義ある社会奉仕プロジェクトまたは国際奉仕プロジェクトを実施する。		
RYLA への参加	_____名のクラブ会員がロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に参加する。		
若いリーダーのためのプログラム	若いリーダーのためのロータリープログラム（RYLA、ロータリー青少年交換など）を会員に紹介するための会合を開く。		
学友の参加	スポンサーロータリークラブと協力して、卒業するインターアクターにローターアクトクラブ（大学基盤または地域社会基盤のどちらか）を紹介する。		
戦略計画	クラブには最新の戦略計画がある。		
ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	本ロータリー年度、クラブのウェブサイトまたはソーシャルメディアのページを月_____回更新する。		
クラブのプロジェクトに関するソーシャルメディアの利用	世界インターアクト週間に行った活動について、ソーシャルメディアで紹介する。		
ブランドリソースセンターの利用	ロータリーのブランドを正しく反映したロゴや資料の作成において、ブランドリソースセンターを利用する。		
ロータリーの公式推進資料の利用	本ロータリー年度、地域社会でインターアクトを推進するため、ブランドリソースセンターにある国際ロータリー作成のメッセージや公共奉仕関連の資料（動画、印刷広告、そのほかの資料）を利用する。		
クラブの推進	毎年のインターアクト賞に参加する。		

ガバナー指名委員会及び地区諮問委員会

区分	資 格	職 務	備 考
ガバナー指名委員会	最近5人のパストガバナーで構成する。	地区ガバナーの指名に当たる。	
地区諮問委員会	パストガバナーをもって構成する。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガバナーの要請により重要事項の諮問に預かる。 2. ガバナーの要請により重要会議のコーディネーター、パネリストの他、地区代議員等の職務に就く。 	ガバナーエレクトおよびガバナーノミニーは地区諮問委員会にオブザーバーとして出席する。又幹事長、次期幹事長等もガバナーの要請があればオブザーバーとして出席する事が出来る。

※旅費は資金規定の定めるところにより支給される。

国際ロータリー第2830地区 危機管理委員会規定

(名 称)

第1条 国際ロータリー第2830地区は、危機管理委員会（以降、「本委員会」と称する）を設置し、その組織及び運営に必要な事項に関して、この規定を定める。

(設立趣旨)

第2条 本委員会は、国際ロータリー第2830地区（以下、単に「地区」と言う）が実施する事項に関し、地区内各ロータリークラブ及びロータリアンにとって「好ましくない事態の全て」を「危機」とし、当委員会に報告のあった危機事案が当委員会の対処すべき事案であるか否かの判断を行った上で、その予防と対処、解決のために必要な提言、指導、助言を行うことを任務とする。

但し、ロータリークラブ内、或いはロータリアン相互間の人的・内的諸問題は除く。

(対象プログラム：特に青少年奉仕関連プログラム)

第3条 本委員会の対象とするロータリーのプログラムは、前条の「危機」が発生する分野全てとなるが、20歳以上の成人が関与する場合は、日本国の法律に準拠することを原則とし、本委員会の対処すべき事案と看做さない場合がある。

青少年奉仕（新世代育成）プログラム、すなわち青少年交換・インターアクト・ローターアクト・R Y L A・米山記念奨学等のプログラムにおいては、それに参加する全ての青少年（新世代）が、安全かつ健全な生活を送れるよう、生活の場で起こりうる交通・自然災害、テロ、身体的・性的・精神的侵害ないし虐待（ハラスメント）、政治的・民族的紛争などの危機に対応する。この青少年奉仕関連プログラムは、本委員会の重要対象として位置付けることとする。

(委員会の任務・業務)

第4条 本委員会は、次に掲げる任務・業務を行う。

- 1) 委員会任務：委員長によって召集された本委員会は、事態発生の場合、事実関係を調査し、対応を協議する。
- 2) 通 報：本委員会は、当該被害者及び申し立て人よりの事情聴取調査、その他必要な調査の後、法令に基づく所定の機関への通知などの要否を判断する。申し立てられた内容が犯罪に該当する場合は、速やかに刑事関係機関に通報する。
- 3) 保 護：本委員会は、該当被害者の身体、身分の保護を最優先に対処するとともに人権にも留意する。特に、将来ある青少年のため、国際ロータリーはいかなる虐待やハラスメントも容認しない「非寛容」方式を各地に要請している。本委員会も厳格な規律をもつとともに、特に未然防止に努めることを主眼とする。
- 4) 連 絡：本委員会は、必要と認めた場合には、事情聴取調査の結果を速やかに地区ガバナーへ報告し、地区ガバナーは、原則として72時間以内に、国際ロータリーに報告する。
- 5) 広 報：報道機関等の外部への対応は報道担当委員がこれに当たる。報道担当委員以外は、本委員会といえども、外部への一切の発言はこれを禁止する。
- 6) 守 秘 義 務：本委員会の委員は、その任務を遂行上知り得た情報を、外部及び他のロータリアン等に口外してはならないし、またその期間を設けない。
- 7) 研 修：本委員会は、年1回以上の委員会会議を開催する。また危機管理についての研修を必要に応じて開催する。
- 8) そ の 他：その他、危機管理、防止などに必要な業務を行う。

(委員会の組織)

第5条 危機管理委員会は下記委員をもって組織する。

- 1) 当該年度の地区ガバナーが指名するパストガバナー、またはガバナー補佐を委員長とし、直前ガバナー、ガバナーエレクト、国際奉仕委員長、青少年奉仕委員長、青少年交換委員長、ロータリー米山記念奨学委員長、広報委員長、及びその他関連する委員会委員長・委員、そしてロータリー以外の外部有識者若

- 千名（2名以上）をもって組織する。なお、委員には、女性、医師、弁護士を各1名以上含むものとする。
- 2) 委員長は、必要に応じて副委員長を任命することができる。
 - 3) 委員の任期は1年とし、再任を妨げない。
 - 4) 委員長は委員会を招集し、業務を統括する。

(保険と多地区法人への加入)

第6条

- 1) 危機管理委員会は、ロータリーの事業に携わるロータリアン及び関係社会人は、全ての個人が健康保険、生命保険等に加入していることを、その任務の前提とする。また国際間の交換学生、留学生、その他のロータリー関連事業での訪問者は、個人として、その事業の開始（出国）から終了（帰国）までの期間を包含する生命・病気・障害・損害等の保険に加入することを強く推奨する。
- 2) 近年の「危機」には、ロータリークラブレベル、さらには地区レベルでの対応可能範囲を超える規模をもつ巨大大事故、巨大災害、テロ事件、機密事項、個人情報漏洩等が含まれる。適切な地域や国の行政当局、国際機関との連携も必要となろうが、そのような事態に備えて、対応可能な保険に加入する必要があるが生じている。

但し、任意団体での保険加入は不可能なので、「一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構」(RIJYEM)等の多地区（マルチ・ディストリクト）レベルの機関を受け皿にした保険機構への加入を推進する。

(事務所)

第7条 本委員会の事務所は地区事務所に置く。

◆附則

1. この規定は、2017年2月1日から施行する。
2. この規定の改廃は、必要に応じてガバナーが見直し、ガバナー諮問委員会に相談の上、改定することが出来る。

2023-24年度 危機管理委員会

1	委員長	パストガバナー	鈴木 唯 司	青森モーニング	医師
2	委 員	ガバナー	築 舘 智 大	八戸	
3		直前ガバナー	田 中 常 浩	むつ	
4		ガバナーエレクト	花 田 勝 彦	五所川原	弁護士
5		公共イメージ向上委員長	橋 本 八右衛門	八戸	
6		国際奉仕委員長	白 山 春 男	十和田東	
7		青少年交換委員長	岡 山 信 広	六ヶ所	
8		インターアクト委員長	松 山 隆 志	野辺地	
9		ローターアクト委員長	柴 田 文 彦	むつ中央	
10		RYLA 委員長	三 浦 基	青森	
11		米山記念奨学委員長	野 坂 幸 子	野辺地	
12		外部有識者	葛 原 香 織	外部	青森山田高等学校教諭
13		外部有識者		外部	青森明の星高等学校教諭

国際ロータリー第2830地区 公式キャラクター 「ロータくん」について



目的

国際ロータリー第2830地区の活動内容をより多くの人々に知ってもらうため、青森県内の皆様に愛されるようなマスコットキャラクターを作りました。

キャラクターデータについて

様々なポーズのデータを用意しました。
下記のような用途を想定しています。

- 発出文書（クラブ内、対外的な案内文書など）
- 公式Webサイト、各種SNS
- ノベルティ（封筒、バッジ、タオル、記念品等）
- 各種広告（新聞、雑誌、TVCM、サイネージなど）

※地区ホームページの公式サイトからデータを自由にダウンロード出来ます。



着ぐるみについて

着ぐるみを制作しました。（アクター身長155cm～175cm）
下記のような用途を想定しています。

- ロータリー主催イベント、各種活動での活用
- 外部主催イベントへの出演
- ガバナー公式訪問

運用方法について

地区の公共イメージ向上委員会主幹のもと、2023-24年度内の着ぐるみ管理は地区事務所がおこないます。

- 貸出方法
使用申請書を地区事務所に提出してください。内容、スケジュールを確認し貸し出します。
貸出料は無料です。ただし運搬等にかかる経費は使用者の負担とします。
- 使用方法
取扱説明書、ガイドライン及び「着ぐるみの着方」の動画を参照してください。
※詳細については地区事務所まで問い合わせをお願いします。
(Tel.017-732-2830)



取扱説明の
動画はこちら



演技見本の
動画はこちら

積極的に活用して国際ロータリー第2830地区を盛り上げていきましょう!!